ペルソナ
罪と罰
III

松枝尚嗣

集英社

9784088732022

1929979003906

ISBN4-08-873202-2

C9979 ¥390E

定価 本体390円＋税

ジャンプ・コミックス

雑誌 43006－02

かず
――実達は、恐るべき災厄を食い止めるため、己のペルソナのすべてを懸けて、日下耶雲と対峙する。最終決戦の刻が間近に迫る…。人気ゲーム「ペルソナ2 罪・罰」とリンクしたもう一つのペルソナストーリー!!

## 松枝尚嗣

本巻の作業中、友人が亡くなりました。最近はすっかり疎遠になっていたものの、美大受験の予備校時代、つるんで遊び歩いていた（笑）紛れもない友達でした。DOして現在に至る僕と違い、東京芸大現役合格を果たした俊才、アーティストとして将来を嘱望される身だっただけに、実に残念でなりません。

心の海深くに、彼の御霊の安からん事を…。

●月刊少年ジャンプ・H13年6月号～11月号掲載分収録

LOVE
J・C

JUMP COMICS

# ペルソナ

## ～罪と罰～

## III.心の海

松枝尚嗣

# EPISODE

## 蝶は舞い降りた

## 親友・里人を追って

## "黒の書"

### ―前巻までのあらすじ―

珠間瑠市七姉妹学園の高校2年生・木場一実は、夢の中で蝶の仮面を被った男"フィレモン"と出逢う。彼が手渡した"ペルソナ"の能力が、一実の人生を大きく変えて行く…。

幼い時からの親友・里人が、同時期に行方不明になった。彼を探すべく街に出た一実。だが、街には悪魔が充満し、同じく"ペルソナ"に目醒めた仲間達、ペルソナを刈るという不気味な敵に囲まれ、里人までもが刈り手となって行く手に立ち塞がる。一実の現実は悪夢の様に歪む…。

"ペルソナ"を刈り取り、廃人化する謎の敵・ネンフィア。彼等の究極目標は、最終兵器"黒の書"を使った歴史操作だった。過去の抹消・改ざんを防ぐため、一実は、己の闘いとして身を投じる決意をあらたにする。

### ペルソナ…

ペルソナとは、神や悪魔の姿を持った、
もうひとつの人格。
いわば、パーソナリティーの実体化である。
フィレモンによる無意識からの問いかけに、
その名を名乗る事が出来た者に対してのみ、
与えられる超能力である。

# ONA

# CHARACTERS

## 登場人物紹介 -とうじょうじんぶつしょうかい-

木場一実…七姉妹学園に通う高校２年生。

計　都…一実と行動を共にするペルソナ使い。
リーダー的存在。

成　衣…廃工場にいた３人のひとり。耶雲の妹。

鈴　音…謎のアイテム・赤の書を駆使する少女。

Ｊ・Ｆ…霜の妖精ジャック・フロスト。鈴音と仲良し。

清水里人…一実のクラスメイトで幼なじみ。

Ｂ・Ｂ…書の番人。Ｇ・Ｒと融合している男。

雛　瞭…狩り手のひとり。

伊　藤…一実のクラスメイト。

日下耶雲…ネンフィア・ジャポン社長。狩り手達を操り、黒の書解放を企む。

フィレモン…意識と無意識の境界に住む謎の神性。

# PERS

# ペルソナ

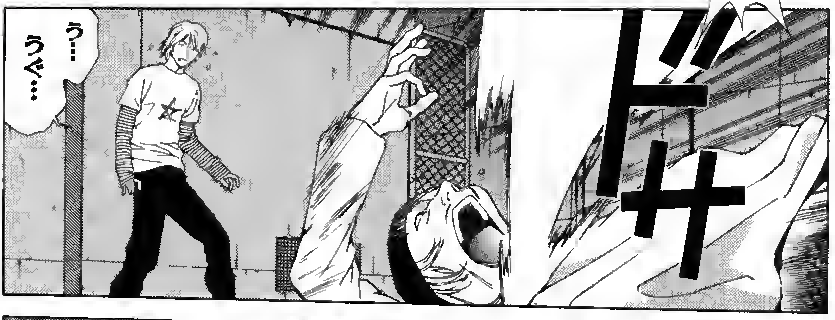
## ～罪と罰～

## III

### CONTENTS


13. 浄化>>哀——7
14. 哀>>書——39
15. 書>>鈴音——71
16. 鈴音>>運命——103
17. 運命>>希望——135
18. 希望>>夢——167

ノヴェラ
13. 浄化(ジョウカ)》哀(アイ)
ぐはっ


ドサ
う…
うぐ…

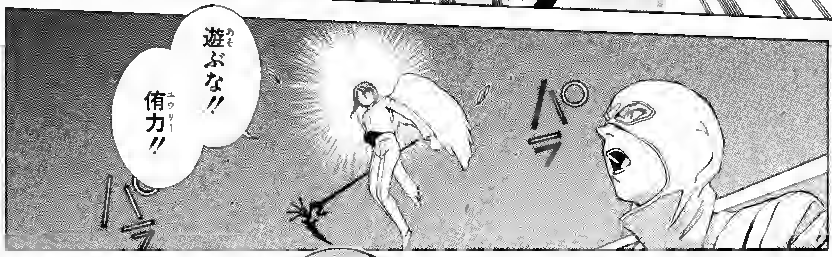
あ～あ…
ヘナチョコが
こんな
ペルソナ使い
ばっかじゃ
僕の可愛い〝黒〟が
またバテちゃうよ
もちょっと
気入れてよね～
冗談じゃ
ね――っ

# 13. 浄化(ジョウカ)》哀(アイ)

PERSONA

マグダイン
くそっ!!
くふ…
アギラオ
まだまだ
もっと
気ィ入れて――!!

旋風陣!!


遊ぶな!!
侑力!!
パラ

里人!
トン

〝黒〟の本格起動まで時間が無い
質より量で凌ぐしかないんだよ

ガム
はぐ
驚いたな
いきなり
やる気に
なったの？
始めから
…やる気だ
ぐぐ…
ザ
ア
ア
ア
ア
ち
ここもかい
……！
ペルソナ狩りが
激しくなって
やがる…！

落ち着いてる

レベルの低い
ペルソナ使いまで
根こそぎだ
きてるぜ
奴らも
わんっ
わんっ

…成衣は？
大丈夫

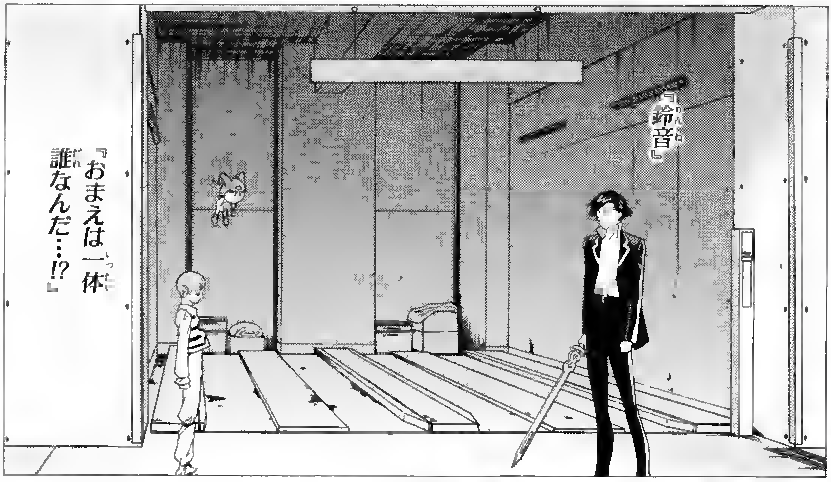
聞き込んだ話しゃ
あの社長
スケジュールの
都合を理由に
生放送を
仕組んだらしいな
自分や妹を
実験台に
黒の書の力を
使うとは
奴ら
いよいよ
本気だ…！

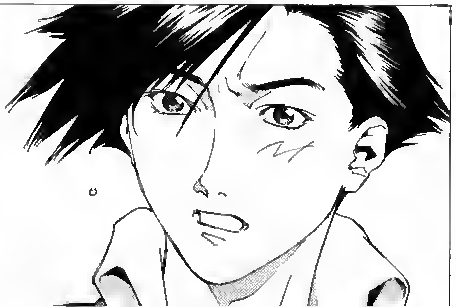
もっとも
刈り手共の
焦り様や
成衣の状態を
見る限り
その〝実験〟も
今イチだったのは
間違いねえ

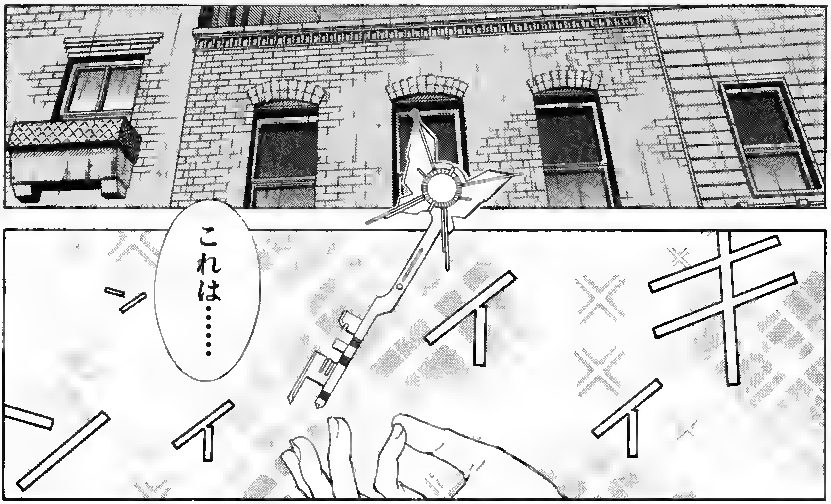
だからって
どう
打って出る…？

日本邪香
生き残りゲーム
本名／火野青一郎？
地震
今夜
かっぱ橋に行ったら
この店のミニサンプル
フン
〝ネンフィア・
スキャンタル〟か

それにしても
一実の奴ぁ
どうした!?
〝鍵〟は もう
手に入れたん
だろうが
いい加減
戻って来やがれ
ってんだ!
……


『鈴音』
『おまえは一体
誰なんだ…!?』


『まさか
おまえは』
『マナなのか
――!?』


これは……

フィレモン様の〝鍵〟…!!
やっぱ知ってんだな

確かめたいんだイゴール
教えてくんねーかこいつの事

と…言われますと…?
上手く…言えねーんだけどさ

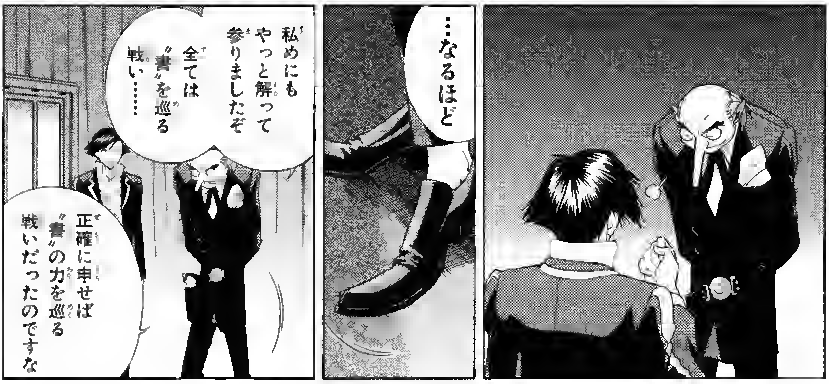
ケイト達は〝鍵〟がG・Rに対抗する為のパワーアップアイテム…武器だって思ってる
俺も今まではそう思ってた
それが――

実際
手にしてみて
どうも雰囲気が
違うんだ
けど…
この重さは
もっと…
別の感じなんだ
それに――
もちろん
こいつの力が
ネンフィアを止める
切り札なのは解る
それに？

成衣さんの兄貴
敵のボスに
初めて会った

何だか
解んねーけど
凄げー男だった
あの力は
ずっと以前から
ペルソナを使ってた
ってだけじゃ
ねーのかもな
シャクイン
とにかく
あんなのを
力ずくで
抑え込むなんて
出来ねー
気がしてさ
だとしたら…
俺達は
鍵について
勘違いしてたんじゃ
ねーのかなって

俺は この戦いに
あの男や皇人に
どうしても
勝ちたい
だからこそ
やっと手に入れた
こいつの事を
もっと
知りてーんだ！

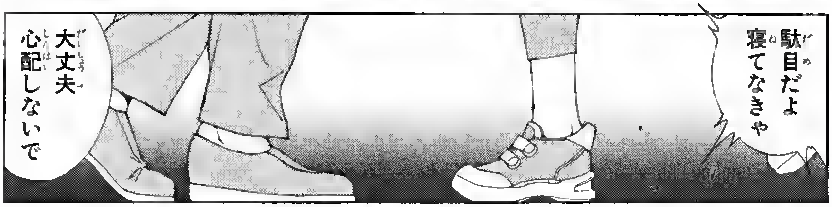

…なるほど
私めにも
やっと解って
参りましたぞ
全ては
〝書〟を巡る
戦い……
正確に申せば
〝書〟の力を巡る
戦いだったのですな

ならば
私の知る限りを
お話しせねば
なりますまい…
〝鍵〟の誕生は
〝書〟のそれと
時を同じくして
おります

人の心の内なる力
それを我が主フィレモン様が子細に渡り記録されたのが〝書〟
即ち〝書〟を読み解く事は人の無限の力を手中に収める事なのです
ペルソナや悪魔として
人々の尽きせぬ精神の力が生み出した姿
それすらも〝書〟に記された力の一部に過ぎませぬが
〝書〟とは人の物にして人の手には余る膨大なる力
故にフィレモン様は力の暴走を封じる手立ても同時に講じられたのですな
〝書〟を封じる力が〝鍵〟には…？
左様
そして
封じるが鍵ならば
その逆もまた鍵なり

…来て
正解だった
ありがとな
お役に立てて
何よりです
ご武運を
祈っております
イゴール
運に頼っちゃ
この戦いには
勝てねーよ
ソタ
真良い顔に
成られましたな
木場様

J・F！
J・F！どこ！
まだJ・F戻らないの？
成衣！


駄目だよ寝てなきゃ
大丈夫心配しないで

どうせ汚れた過去として消されかけた身なんだから
成衣
冗談よ
…哀しくて堪らない――
私は間違ってた
兄は変わってしまったんじゃない
むしろ変わっていないからこそこんな事を…

今は心底…
兄を
止めたい――

……

以前
成衣さんから
聞いた
平坂区の
社長の生家

幼い兄妹に
繰り返し
虐待が行われ

最悪の悲劇が
起きた場所

あああああ…

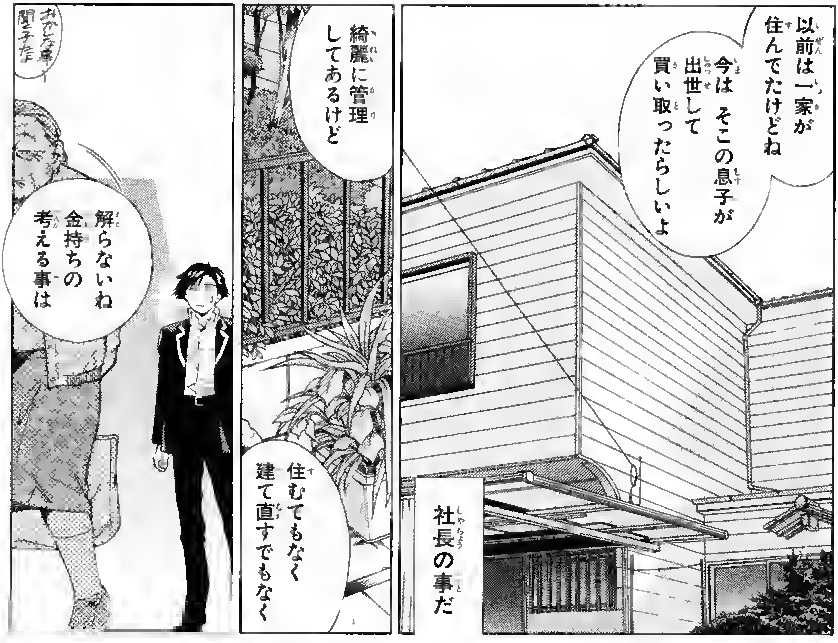
あの男の
原点を知るには
やはり
ここから

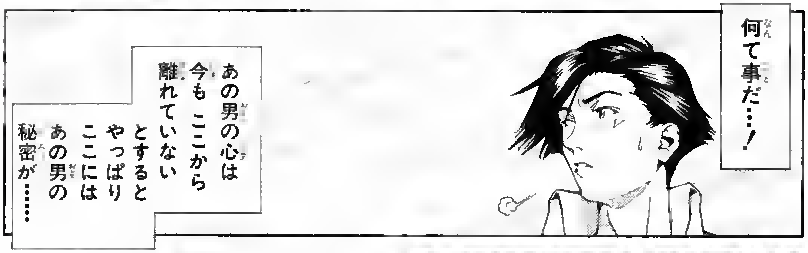
火野

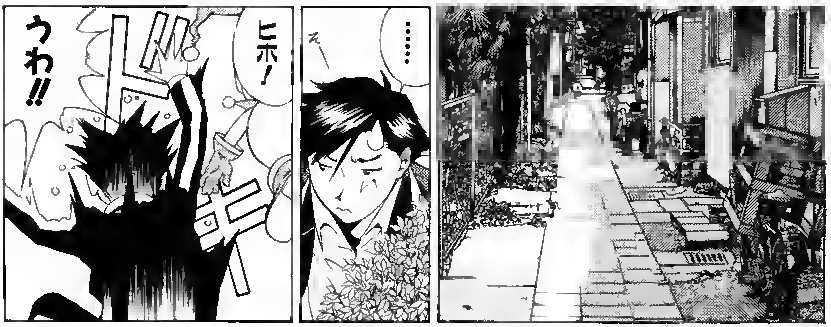
あの
ここって
今も誰か
住んでるん
ですか…？

始まりから
当たるしか
ないと
俺は思った

ああ
この家


以前は一家が住んでたけどね
今は そこの息子が出世して買い取ったらしいよ
社長の事だ
綺麗に管理してあるけど
住むでもなく建て直すでもなく
解らないね 金持ちの考える事は
おかえり 賢子さん


何て事だ…！
あの男の心は今も ここから離れていない
とするとやっぱり ここには あの男の秘密が……


ヒホ！
うわ!!
……

やるったらやるホー!!!
うわ!

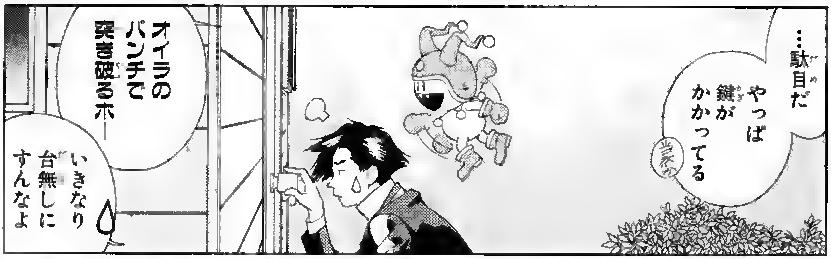
…J・F!?
ドキ
ドキ
一美ー 手伝いに来たホー
手伝う?
おいおい 遊びじゃねーんだ 帰ってろ J・F!!
何たホー 退屈は要らないホー してねーよ 帰れって!!

オイラは「キング・フロスト」に仕える美雄の
…将軍の息子だホー
そこらの悪魔とは格が違うんだホー

あ…そう
それに…
オイラだって…
鈴音を——

……
こいつ…

よし
手伝ってもらうよ
ヒホ♡
最初からそう言うホー!!
ガシャガシャ


…駄目だ
やっぱ鍵がかかってる
オイラのパンチで突き破るホー
いきなり台無しにすんなよ

『封じるが鍵ならばその逆も』
……
"鍵"…?
どーすんだホー!?
判んねーよとにかく試してみる

俺の考えが
正しければ
カチ
!!
開いた…
本当に
……!!

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
見える奴〜!!

何だ これ…!?
こんなに悪魔が!!
見える奴――!!

アトミック・ブフーラ!!

J・F!
何してるホー
やっつけるホー
ああ 入るしかねー!!
マハンマ

ブリザード・ブレス
ゼッ
ピキ
ピリ
利剣乱舞!!
見える奴
何かキレないホー
くそっ
俺は

もう
負ける訳には
いかねーんだよ!!
!!
断片化

!!?
ビシ
ビシ
うわ!!?
一実
ぐ…っ
何だ!?
これ…
空気が
裂けて——っっ

一実――!!
……は!?
「家に来なくて
ここに
残るだって!?」
「父親と母親が
あんな死に方
したんだぞ!!」
何のつもりだ
精一郎!!」
…
いいんです
叔父さん
ここは…
僕の家だから

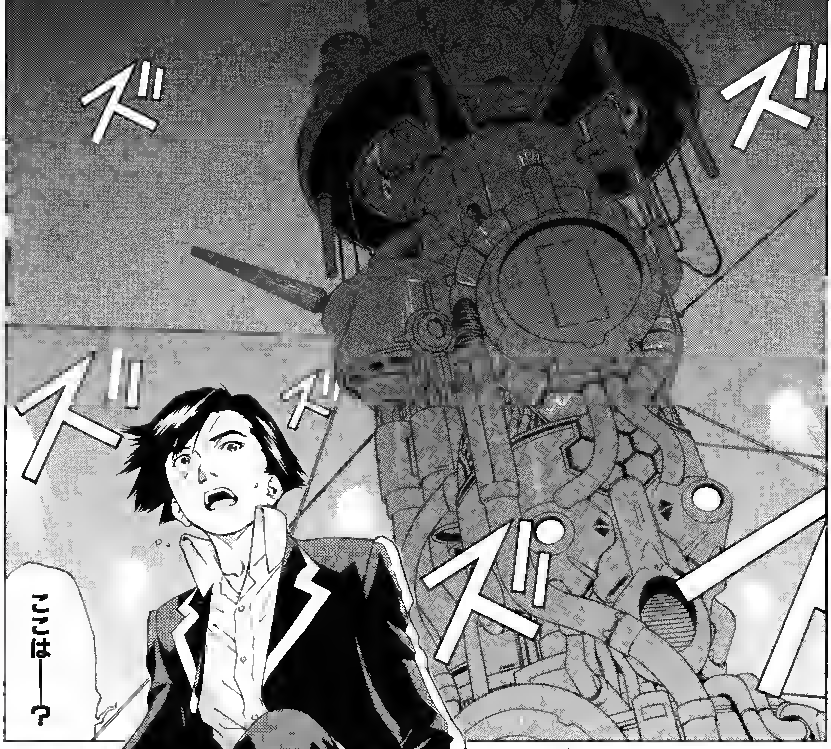
これは――!?
若い頃の…社長――!?
あなたも…周りの人間も僕達兄妹を見捨てたんだ
今さら誰かを信じるなんて無理だ…
勝手にしろ!
成衣の事くれぐれも頼みます
あいつは…まだやり直せる
もしあいつを不幸にしたら
僕はあなた達を許さない――!
何だ…これ…っ
あの男の…記憶の世界なのか…!?
全く薄気味の悪いガキだ…!
兄貴達夫婦が殴りつけたくなったのがよく解るよ…!!

ほら
あの子
両親が
変な
死に方した…
ああ あの
幽霊屋敷の
変な子
ヘラヘラ
しやがって
ムカつくん
だよ!!
死ね
バーカ
それは
おぞましい
光景だった
周囲の
心無い思いが
一人の少年を
引き裂いていく——
お兄ちゃん
なんか
いない…!!
そうか
この男の
力の源は
底無しの
哀しみ
——!

いいんだ…
これは
僕への罰…
こんなに
優しい心が
こんなに
哀しい心が
僕への——
傷付いて
血を流して
赦されない
罪を犯した
はかない運命に
潰されていく
そんな事が
駄目だ
僕は何故
生まれて来た
何の為に…
生きて——
死ぬなんて
——!!

死ぬなんて駄目だ!!
君は――!?

うわ!!!
いで
くそ…
思わず
叫んじまって
……

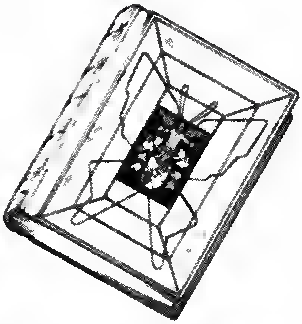

ズ
ズ
ズ
ズ
ズ
ここは――？

何だこいつ…!?
何だ…？
何者だ
ここは一体…!?
!!

は…!!

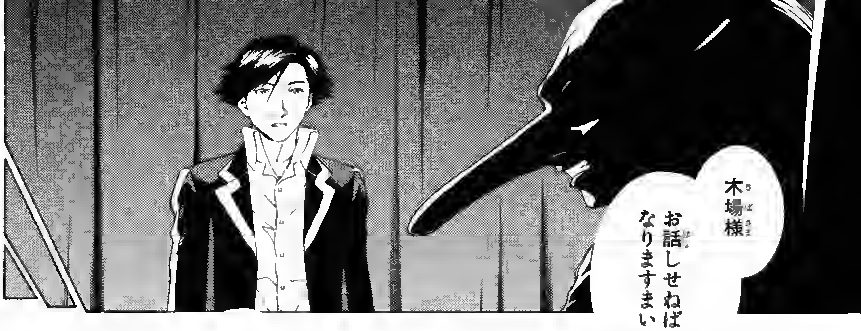
先ぶれなく
"黒"への侵入を
果たすとは
只者では
あるまい…

その時
俺は まだ
自分のしでかした
事の大きさを
知らなかった
俺の思いが
俺の意志が
全ての人達の
運命を
握っていた事を——



赤の書／黒の書

「ペルソナ」世界を彩るのがユング心理学の各用語。
もちろんこれらも例外ではない。
C・G・ユング自身が夢を通して体験した様々な
イメージを、「覚書」として文章で記したのが「黒」、
そして、それに自筆の絵も加えてまとめたのが「赤」だ。
本作の中では両書を登場させているが、実際、革の装丁は
「赤」のみだと思う。多分。
因みに赤の書に描かれた「フィレモン（老賢人）」は
「かわせみの羽根を付けた老人」等。全然違う（汗）。
その手には「４つの鍵」束も握られていたりするぞ。


木場様
お話しせねば
なりますまいな

あれは
遥か昔
人の文明が
人の心を離れ
罪無き魂を
苦しめ始めた頃の
出来事てす

# 14. 哀》書

未曾有の
大戦で
ございますな
フィレモン様
哀しい事だ…
人は
人でありながら
尚、人以上の物へと
変わらねば
ならない時が
近付きつつ
ある様だ…

# 14. 哀(アイ)》》書(ショ)

*PERSONA*

それは……？
名付けて
〝赤の書〟と
〝黒の書〟
私の
知る限り
持ち得る限り
全てがここに
記録されている

!?
何故に
その様な物を
これらを
人の手へと
委ねる気だ
何ですと!?
只てさえ人は
己の浅はかな
知恵に溺れて
しまっておる
のですぞ
その上この様な
膨大なる力を
与えるおつもりで

お言葉ですがフィレモン様
人が人である限り…
人は内なる力の虜でしかあり得ぬ生き物
人が深き業を乗り越えるなぞ叶わぬ事!!
イゴール
人はその叡智でもって己の何たるかを知らねばならない
さもなくば遠からず驕いを増す昏き力に滅ぼされるだろう
精神の完全なる解放も人を滅ぼしますぞ
何よりもし人が滅ぶ事があればそれは即ち——
そう
人が消えればその精神に住まうこの私も同時に消える
……それでもなお
人の可能性を信じるおつもりで…
ふふ

異形の者
イゴールよ
おまえは その
美深き〝人間〟へと
成りたいのだろう
ならば その目で
見届けるのだ
この
私めが？
この〝夢〟を
解き放つも
封じ込むも
人の
強き意志で
あって欲しいと
私は願う
辛い
第一歩だ
だが私は
信じよう
人よ
新たなる
可能性を
このフィレモンに
示してくれたまえ…
ズ
ズ
ズ

ここが…
こいつが…
ズ
ズ
ズ
"黒の書"だって……？
そんな…
俺は…
ネンフィアまで
飛ばされたって
言うのか…？
ズ
ズ
ズ

なるほどな
俺の内なる
刈り手の魂が
告げている
その魔剣が
"書"への扉を
開いたのだと
キ
イ
イ
イ
ン

〝書〟への扉…
そうか…
鍵が
あの時
切り開いたのは
封じるか
鍵ならば
その逆も
扉なり…」

何のつもりで
ここへ
飛び込んだのかは
知らんが
この〝黒〟を
文字通り
死守するのか
我が宿命…

ンイィ
ギィ
剣が…
この男が
危険だって
教えて
くれてんのか
…？
おまえの命運
ここで尽きたと
知れ!!
くっ
戦うしか

イア イア
ハスター!!
ヤマ!!

ゴゴゴ

ハマオン

フン

ぐはっ

魔法を反射した

ぐあああっ!!
アクアリータイド!!!
G・Rか

物理攻撃に切り換えたか
賢明だな
それだけじゃねーぞ!!
魔剣ー!?
やった…

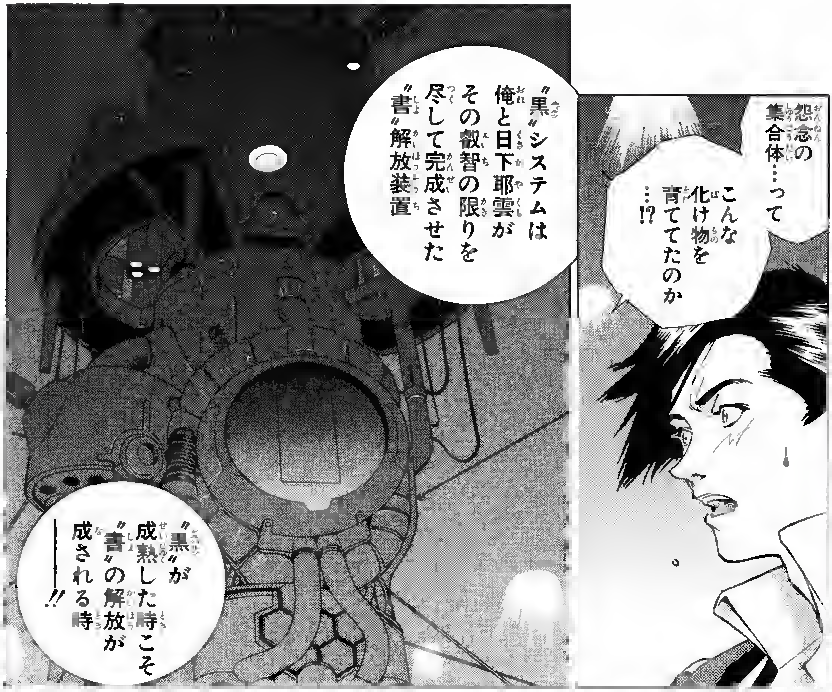
はう!!
何だこいつ…
今まで見た刈り手達とは違うぞ…!!
G・Rが…
もう1本…!!
そんな…

この身と融合した〝書〟の力が
俺の神経1本1本と分かち難く結び付いて
俺を人ならざる者へと変えた
G・Rによって強化されただけの他の刈り手とは
格外と知れ
〝書〟と融合した男……？
あんたも〝書〟を解放して過去を消したいって訳だ！
俺はとうに死んだ身だ
〝書〟解放になど何の興味も…
くっ
オオオオオ
!!?

〝黒〟め
闖入者に機嫌を損ねたか
何だ…？

シュバ…？何だよ 今の!!
……
〝黒〟

〝書〟のエネルギーを滋養として成長した——
刈り取られ怨念に満ちたペルソナ達の集合体
このシステムが造り出したマクロ・ペルソナだ


怨念の集合体…って
こんな化け物を育ててたのか…!?
〝黒〟システムは俺と日下耶雲がその叡智の限りを尽して完成させた〝書〟解放装置
〝黒〟が成熟した時こそ〝書〟の解放が成される時――!!

……!
そういう…事か…!

彼奴らは〝書〟へ昏き力を注ぎ込む事で内側から喰い破らんとしておるのでしょうな
しかるに真に書を解放出来る者は強き意志を持てる者のみ故に封じる者もまた同じ…
フィレモン様に〝鍵〟を託されし者のみですぞ

思いますに
G・Rとは
〝書〟に開けられた
抜け穴のごとき物
刈り手を
それぞれ
撃破しようとも
次々と〝書〟に
穴が空いていては
話になりません
これは
私見に
過ぎませぬが
〝書〟を封じるとは
即ち
G・R産出の
元凶を断つ事
なのでは…？

ち…っ
だからって
どこを
どうすりゃ…
それに
剣すら
刃が立たねー様な
男が
護ってんだぞ…!!

…社長！
社長!!

何事かな？
"黒"システム内に侵入者です!!
誰だい？
いえ…未だ…何しろ突然で
そうか…排除を急ごう
…流石だよ運命の少年
君はいつも僕の核心に迫って来るね

…
「危ない！精二郎!!」
B・B——
俺はここを護らねばならん…!!

奴の
哀しみの深さが
呼び寄せた
〝書〟の力
ぐっ
そんな
付け焼き刃で
止められると
思うな!!!
俺だって…
それを
見てる!!
あんたこそ
あの男の
哀しみの柯が
解るってんだ
たわ言を!!

G・Rが
何本も……!?
我が体内に宿る
刈り手の魂は
無限の再生を
繰り返す
不断の力!
自らの精神力を
消費してしか
力を発揮出来ない
ヘルソナ使い達に
この俺を
駆逐するのは
不可能……!!
駄目なのか!?
こんな奴を……
くそ!
解ってるよ
ヤベーのは
いや…
待てよ…
そうか
この男
まさか――!

物理攻撃力強化
……
諦めの悪い少年だ…！
であああっ

ゴゴゴ
ぬぐあッ
無駄だ！
〝書〟の力の前には
何者も無力！
諦めて
あの男の
哀しみを癒す
糧となるのだ
……！
……!!

ペルソナを踏み台に!?
小賢しい――!!
俺にだって鍵の力がある!!
何故諦めん…!!?

!!?
甘めーよ！
何!?
鍵はな…
斬る為の
道具じゃ
ねーんだ
"書"を
"書"の力
諸共——

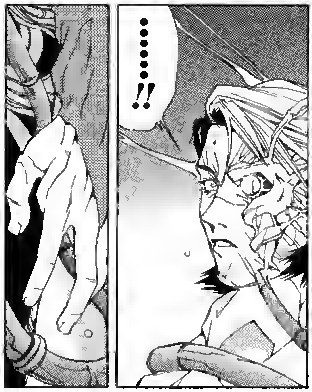
封じる力だ
ぐ…っ
ゼン

な…
何をした…っ!!?
ヒュン
ヒュン
あんたが
あんた自身が
〝書〟を
封じるための
〝錠前〟だった
からだ…!!
やっぱな…
鍵がずっと
教えてくれてた
この共鳴は…
あんたが
危険だからじゃ
なかったんだ
キ
キ

馬鹿な…
ぐっ
あんたこそ諦めろ!!
ぐあっ!!
!!

…あんたやっぱ他の刈り手と違うな…
何もかも諦めたみたいに言いながらあんたは必死に…自分以外の何かを守ろうとしてる

やはり…
あの時俺は死んでいたのだ……


……!!

…火野精一郎とは
奴がネンフィアP
入社以来の
親友だった…

親友…？

俺は
ネンフィアと
契約していた
一介の
S・エンジニア
だったが
お互い同じ
ベルソナ使い…
意気投合するのに
時間は
かからなかった

その当時から
あいつは
〝黒〟システムの
理論構築に
夢中だった

不幸な男の
哀しい妄想だと
その時の俺は
冷ややかだった

だが 社長に
抜擢された
奴に連れられ
日本に来た時
俺は自分が
間違っていた事に
気付いた

ネンフィアの手で
〝黒〟システムは
着々と開発が
進められていたのだ

奴の情熱に
ほだされた俺は
協力を
惜しまなかった

そして
あの日
システム
完成直前
〝黒〟は
暴走した

勝手に
G・Rの産出を
始めたのだ

危ない
精一郎!!
奴を庇い
G・R生成の
力場に
呑まれた俺は
〝書〟の力と
融合した――
以来 俺は
ネンフィアに
留まり
成長を続ける
〝黒〟の力を制御し
外敵から
守って来た
〝黒〟を
知り尽した
俺で無ければ
出来ない役目だ
後悔すら
虚しい
今の自分を
何より…
精一郎を
放っては
おけなかった…
ぐ…っ
友情とは
そんな
真綿の様な
物では無いとは
解っている…
だが俺は…
あいつの哀しみを
何とか
取り除ける
ものと…
信じて……

ぐっ
ぐぁあっ
少年よ
貴様なら
あいつの
哀しみを
罪と罰の
地獄の連鎖を
…断ち切れる
かも…知れん
あいつを…
精一郎を
!!
…
やっと…
解ったよ
あんた
ずっと
"者"を
護ってたんじゃ
ね——んだな…
むしろ

〝書〟の力から
あの男を護ってたんだ……

あそこだ

いたぞ!!!

くっ

どうやら一旦みんなの所へ戻るしか…

残る3つの鍵穴

そこにそれぞれの鍵を掛け切らなければ〝書〟は止まらないと言う事だ

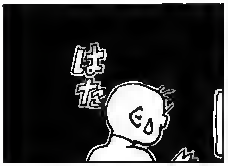
けど

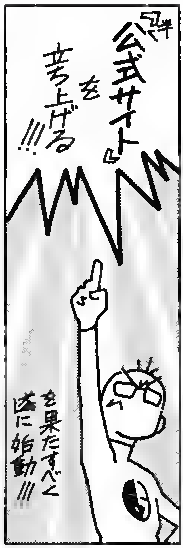
俺の掛けた1つ目の鍵が〝書〟の力の一部は封じたはずだ

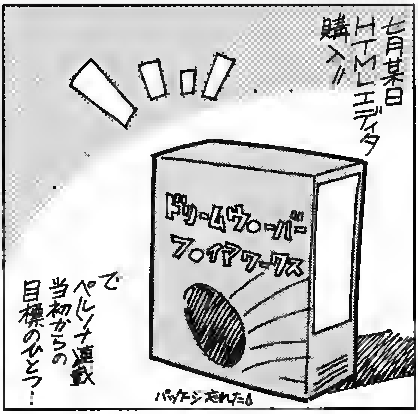
この戦いが俺達とネンフィアの攻防を一気に加速させた…!!

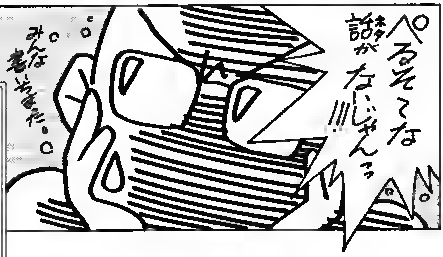
# 松のへるそ～な話。

その6




てな訳で

http://www5d.biglobe.ne.jp/~matsueda

『松枝屋 東京店』

松枝屋 東京店

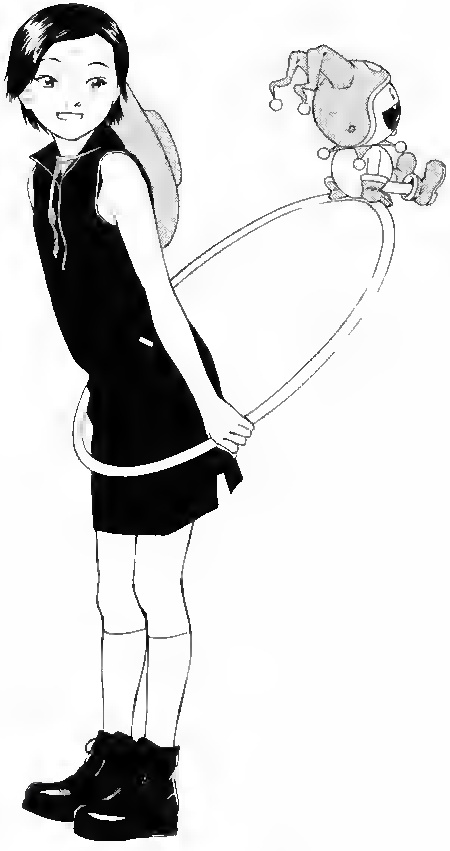
ハスター　(Hastur)

米国の怪奇作家H・P・ラブクラフト創始の神話大系「クトゥルー」に登場の神性。
＜名状しがたきもの (the Unspeakable) ＞の呼び名の通り、謎が多いらしい。
「ペルソナ」シリーズでは、クトゥルーは重要な役所に配置されている。二……ホ…ブとかも今作ではちゃんと（?）からんでいるのだ。

はあっ
15. 書(ショ)》鈴音(リンネ)
はあっ
はあっ
ル
ル
ル
ル
一実(かずみ)!!
J・F(ジェイエフ)か
早(はや)く…
みんなの所(ところ)へ
判(わか)ったんだ…
"書(しょ)"を…
ネンフィアを
止(とど)める方法(ほうほう)が!!

# 15. 書(ショ) ≫ 鈴音(リンネ)

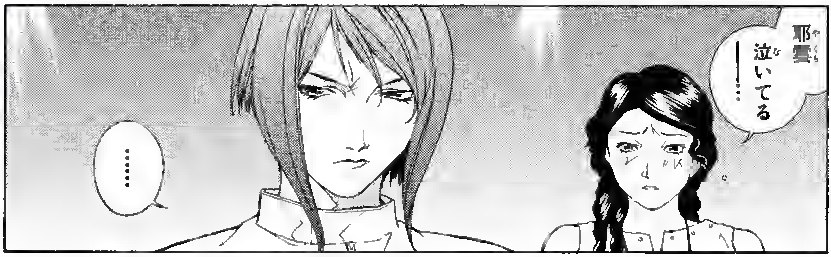
*PERSONA*



B・B――

ち…っ
何だよ
これ…!!

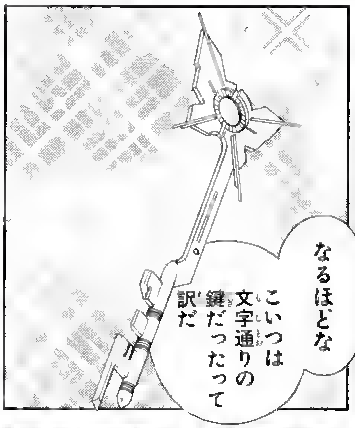
〝黒〟の機能が
4分の1程度
ダウンしてる
いや…
〝書〟の一部が
〝黒〟からのアクセスを
拒否してるんだ!
システムエラー
なのかどうか
確認しようにも
プログラム設計は
B・Bだったし…
彼らの〝力〟が
〝書〟の解放を
妨げているんだ
運命とは…
こういう
物なのか

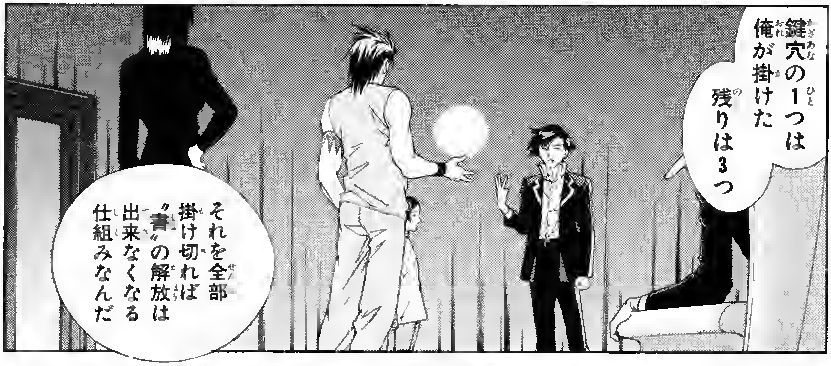

耶雲
泣いてる……
……

どうするんだ？
〝黒〟の機能が半端なままじゃ〝青〟は解放出来ない…
まだ…手はあるさ

侑力
もういい…〝黒〟の制御ユニットから〝青〟を切り離すんだ
マジかよ!!
〝青〟には〝黒〟のエネルギーが注入されてる!!今下手にいじっちゃ暴走…
いいから掛かるんだ!!
!!
知らないよ
里人君
零亜
君達は使役出来る限りの悪魔達を街へ
何すんの？

例の4人を
捜し出すんだ
今や
〝書〟解放の鍵は
彼らが握る…!!

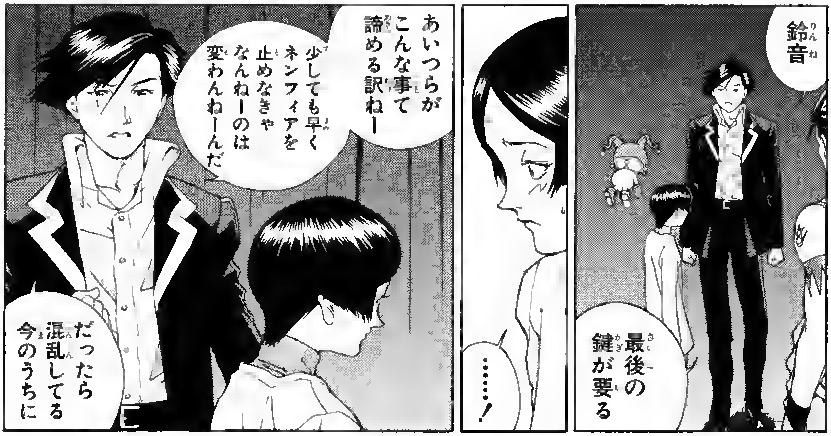

なるほどな
こいつは文字通りの鍵だったって訳だ


鍵穴の1つは俺が掛けた
残りは3つ
それを全部掛け切れば〝書〟の解放は出来なくなる仕組みなんだ

結局 私達が危険覚悟でネンフィアに乗り込むしか無いって事ね
連中が俺達の鍵を狙って来る事も考えられるぜ

とにかく後は――

!


鈴音
最後の鍵が要る
……！
あいつらがこんな事て諦める訳ねー
少しても早くネンフィアを止めなきゃなんねーのは変わんねーんだ
だったら混乱してる今のうちに

…うん
解るよ

…ってオイ解ってんのか？
鈴音！
あとはおまえが…
鈴音をいじめるなホー!!
わ!!
いじめてねーよだから早くしねーと…
うるさいホー一実たって試練術くて逃げたホー
逃げてねーよ!!
……

ミネ

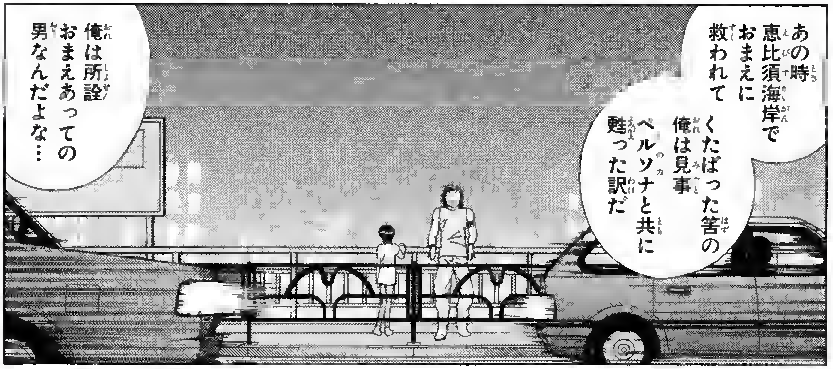
邪魔(じゃま)なら
そう
言ってくれ
ケイト…
ポン!

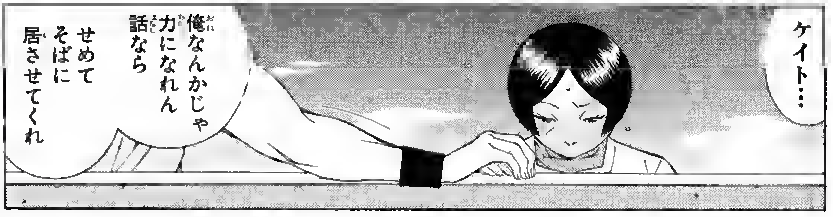
……

どうしよう…
4つ目の業(ごう)…
それが
見(み)つかったら
もう
みんなとも
――――――

そうか
〝そろそろ帰る時間が〟って奴だ
やっぱりケイトは知ってたの？
おいおいずっと一緒だったんだぜ

この2年間おまえは全く成長してねえ
バカでもおかしいと思うだろが


あの時恵比須海岸でおまえに救われてくたばった筈の俺は見事ペルソナと共に甦った訳だ
俺は所詮おまえあっての男なんだよな…


ケイト…
俺なんかじゃ力になれん話ならせめてそばに居させてくれ

ケイトは
優しいね
何たって
鈴吉は
俺の
女神様
だからなあ
見まる奴
ドン
ドン
社長ー！
コントロール・
パスを
カットしたよ
結構
一体…
何を――？

…夜の大海へと船出せし者よ
魂の風に真帆を揚げ
命の灯に舵を向けよ
聞き給え
同胞の声
開き給え——
永遠への窓を
——!!

"書"が
召喚…
降魔される
…？
そんな…
まるで"書"が
社長の
ペルソナの様に
……!?

きゃあああああっ!!!
鈴音(りんね)!!?
あう…
ああああっ
くそ…
うわ!!!
パチッ
…な
何(なに)が
起きてる
…!?

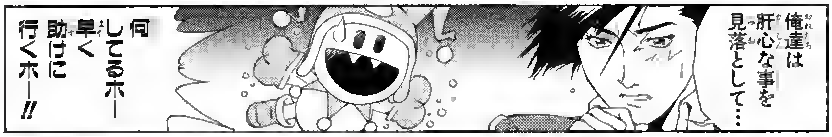
ビ
ビ
ビ

もう〝赤の書〟しか無い
〝黒〟システムでの代用を試みて来たがやはり〝赤〟を直接手に入れるしか無いんだ
互いを補完し合う赤と黒
両書の力を直接ぶつける！
赤黒両書の解放を一気に果たす!!
どうしたの!!?
鈴音ー!!

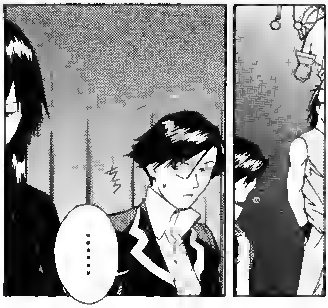
これこそが
〝黒〟のペルソナ形態
この〝黒〟でもって
かつて君が
赤の書で成した事を
逆に行えば
くっ
君の赤の力は
黒によって
干渉出来る――!!
あううっ
ビ
レ
待てオラァ!!!
ド
ぐはっ
!!
…こんな強力な
ペルソナが
遠隔操作
出来るだと…?
あの男…
聞いてた以上の
化け物だ…!!

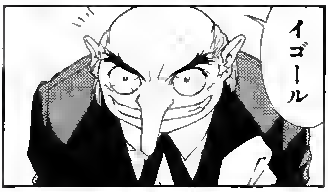
もう1つの〝書〟は頂いて行く
だが
ニィ
ル
ル
ル
止めたければ来るがいいさ
それが運命ならば受けるまでだ
こちらもあらゆる手立てを講じよう…!!

鈴音――!!!
くそっ!!
どういう事?
赤の書って
黒の書と
一緒に生まれた
っていう…
あれを
鈴音が?

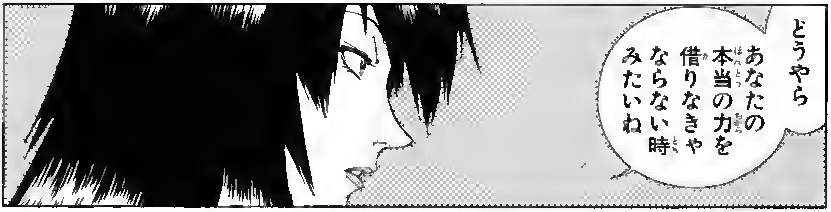

俺達は
肝心な事を
見落として…
何
してるホー
早く
助けに
行くホー!!

黙ってろ
J・F
そう
簡単に
黙らない
ホー!!
鈴音は…
鈴音は
ずっと独りで
戦ってたんだホー!!
誰にも
言えない
秘密抱えて
オイラ達を
守ってくれてたんだホー

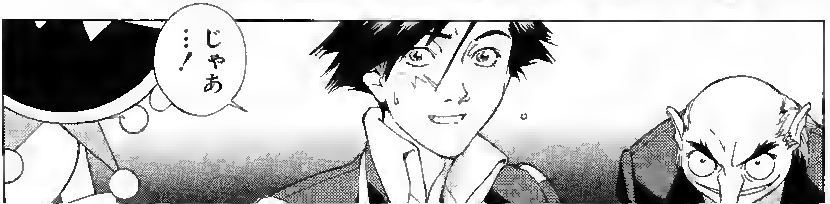

……


イゴール

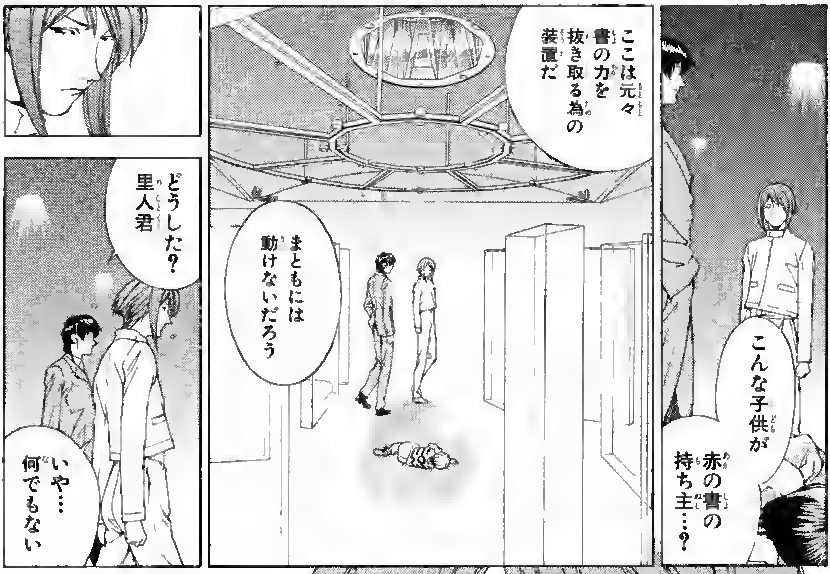
オイラ達が
行かなきゃ
助けなきゃ
誰が行くって
言うんだ
ホ――!!!


どうやら
あなたの
本当の力を
借りなきゃ
ならない時
みたいね

お安い
御用で
え？
何の話？
いいんだ
俺も
装備を
整えたい
先に出る


じゃあ
…！

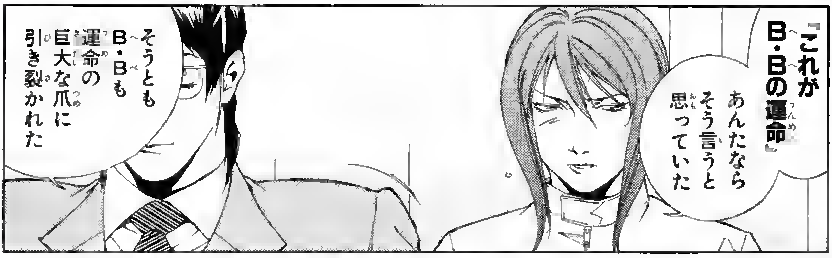
乗り込むしかねえ――
ネンフィアへな……!!
DAS SCHWARZE BUCH
立入禁止
ウ
ウ
ウ


こんな子供が
赤の書の持ち主…？
ここは元々書の力を抜き取る為の装置だ
まともには動けないだろう
どうした？里人君
いや…何でもない

どこかで――

一つ聞きたい
あのB・Bはあんたにとって何だったんだ

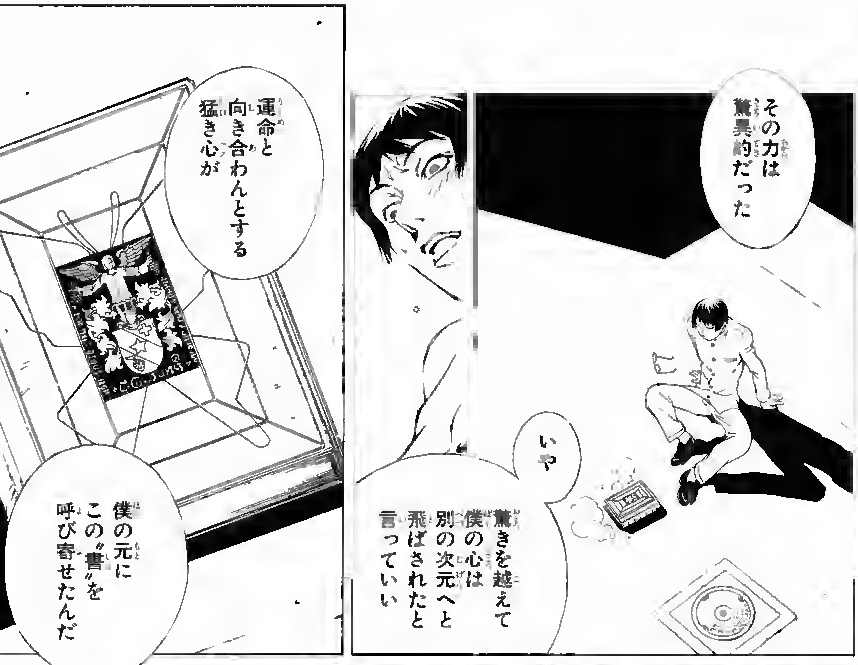
10年来の親友だ
親友…
いつもその身を投げ打って僕の為に…
かけがえの無い友人だったと知ったのはずっと後の事だ
もっと早く気付いていれば彼は――


『これがB・Bの運命』
あんたならそう言うと思っていた
そうともB・Bも運命の巨大な爪に引き裂かれた

だからこそ僕達はその運命と闘っている――
里人君
君だけには話しておこう
僕はかつて自ら犯した罪の重さに
残酷な運命の前にひれ伏した

ペルソナを抑え
心を閉ざし
ただ
運命に
流されるまま
死人の様に
生きていた
ヘラヘラ
しやがって
ムカつくんだよ!!
あの子
死ね
バー
実際に
死を選ぼうと
した事も
あった程だ
だが――
僕は その時
生きる事を
…即ち
運命と
闘う事を
選んだ…!!

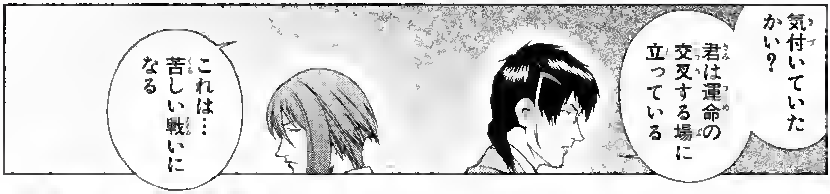
ペルソナ!!
ツ
ツ
これは――!?
……!!
……!!
…彼らは消えた
歴史の中から


その力は
驚異的だった
いや
驚きを越えて
僕の心は
別の次元へと
飛ばされたと
言っていい
運命と
向き合わんとする
猛き心が
僕の元に
この〝書〟を
呼び寄せたんだ

僕は知った
運命の力に
抵抗出来るのは
〝書〟をもって
他にないと

運命を
握る者のみが
運命から逃れ
得るんだと…!!

彼らは来るよ
必ずね
カツ
君にとって運命の少年である彼が
僕にとってもそうである以上…
一実が…？
何故――
いずれ解る…彼が来れば


気付いていたかい？
君は運命の交叉する場に立っている
これは…苦しい戦いになる

ネンフィアに来て俺は〝本当の自分〟を手に入れた
俺は俺を賭けて戦うだけだ…!!

ここが…
〝書〟への
直通路…
…
もうここには
来ないと
心に決めてたのに
こんな形で
戻る事に
なるなんて…
成衣さん

何とかなるよ
〝書〟も…
街も…
あの男だってきっと――

私達は鈴音に集められた様なものなのね
それが何故かは解らないけど
それでも仲間がいて良かったって思う

君達がいなかったらここまでは辿り着かなかった
ドド
やっと俺達の頼もしさに気付いたか！
ケイト！
すまんな遅くなった

2人共持ってけ！
ポン
ソッ
この先は何が起きてもおかしくねえ
使える物は1つでも多く持った方がいい
家訓
ふぉ
鍵掛ける時は忘れずに！
訳
わかんね
元ネタ古すぎ
……
最後の鍵はもしかしたら鈴音とは――
え？
いや…何でも無い
…行こう！
トン
ソッ
遂に始まった――！

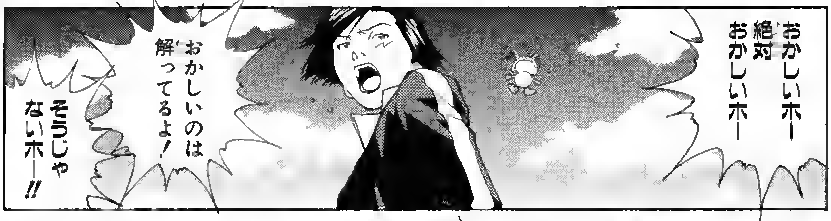
俺達の――
!!?
……こりゃ
ゴゴ
それに…
前とは違うホ―
ここは……!!

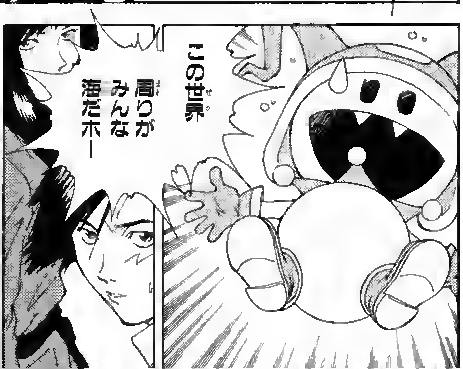
珠間瑠じゃないか……!!!

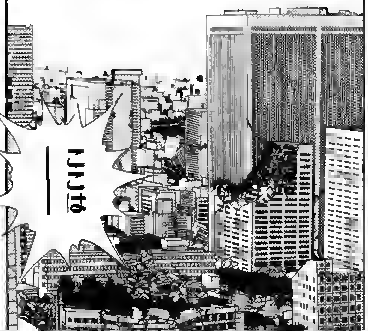
イシス　(Isis)
古代エジプトからギリシャ、ローマでまで
崇拝された豊饒の女神。
殺された夫（オシリス）の遺体を探し出して
生き返らせたり、息子（ホルス）に仇討ちさせ
たりと「女性の鏡」的存在らしい。
…そんなん怖いおばちゃんじゃ。

ヴァルキリー　(Valkyrie)
ワルキューレ(Walkure)等とも。北欧神話
の戦いの女神（姫）。
「ラグナロク（神々の黄昏、最終戦争）」に
備えている主神オーディンの元に戦死した
勇者達の魂を連れて行く役目とか。

間違いない…
ここは…
珠周瑠だ…!!
16. 鈴音》運命
どういう事?
こんな事が


おかしいホー
絶対
おかしいホー
おかしいのは
解ってるよ!
そうじゃ
ないホー!!


この世界
周りが
みんな
海だホー


ここは

# 16. 鈴音(リンネ) 》 運命(ウンメイ)

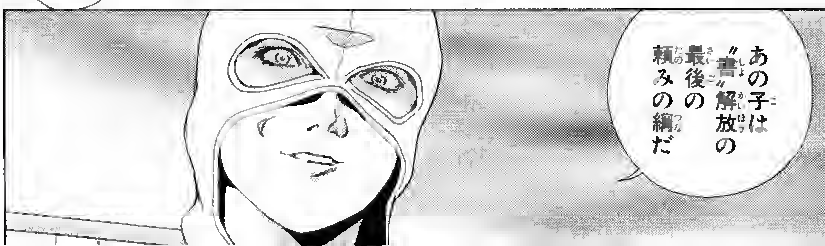
PERSONA

ここはもう一つの珠閃瑠…
平行世界って訳

刈り手…
ち…
お待ちかねって段取りかい…！

知ってる？
人の未来は無数に分岐してる
どの道を選ぶかは偶然であって人の意志じゃない
ここは運命の力に負けた無残な未来
〝書〟の力を持てなかった世界なのさ
フン…訳の解んねえ事を――


鈴言を返すホー
ムリムリ諦めなよ――


あの子は〝書〟解放の最後の頼みの綱だ

…は!!
お目覚めかい？
！
黒の洗礼…いかがだったかな
ここは…ネンフィア？
君達が力の一部を封じてもなお〝書〟の力は絶大だよ
全てを解放させた時…何が起こるか見物だな

私を連れて来たって協力なんて…

承知している

君は黒の書解放を阻止すべく遣わされた身なのだろう？

しかし

そんな君も独力では目的を果たせない

だからこそこれまで動こうとしなかったんだ

…頼みの彼らならご到着だ

もっとも書へと通じる次元通廊には余さず縛工を施した

彼らには そこで刈り手諸君と遊んでいてもらう

その間に…

!!

残念ながら
〝黒〟システムは
書解放装置
としては半端な
ガラクタでしか
無かった
でも
僕自身が直に
降魔した黒の
膨大な力で
システムを
動かせば
まだ十分
利用出来る
――!!
ゴン
キン
キン
ドーン
きゃあああああっ
ああっ
黒の書と
〝黒〟システムの
連携で
ああああ
赤の書を
開く――!!

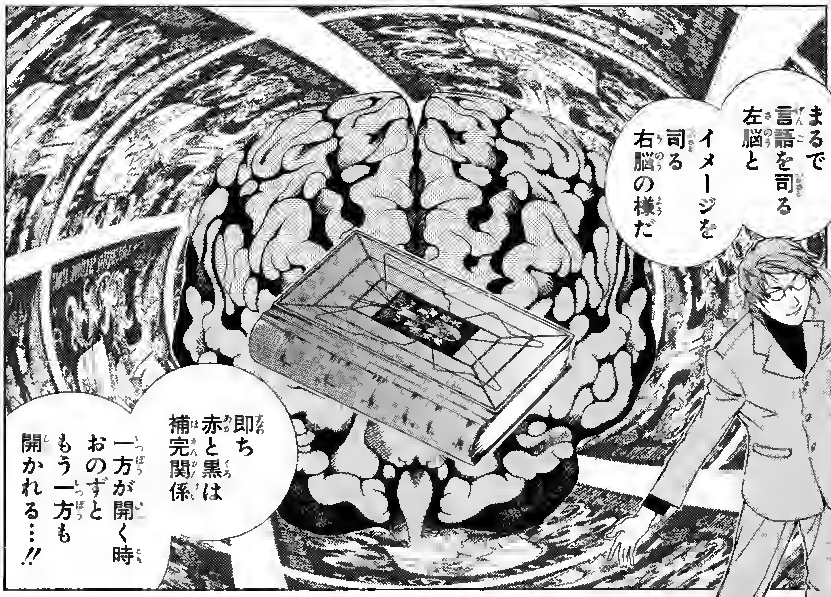
おまえらと遊んでる暇はねえんだ!!
こっちも邪魔はさせない!!

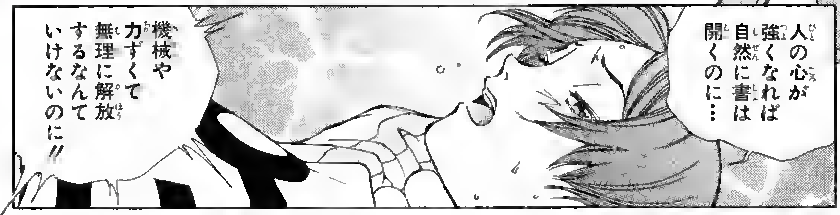
キン
ン
ン
くっ
私は
荒ぶる戦乙女の
ヴァルキリー!!

ビッ
わわっ
見える訳
!!
ザコ
キャラー
一実!!
こいつらは
俺達が相手をする
その間に何か
脱出法を考えろ
んな
ムチャな

うわ
くっ
一実…!!
……
里人!

ハイ
ハイ
ハイ
うっ
ああっ
素晴らしい…
文字で記された黒の書とはまるで違う色彩と図形の奔流……
これが…赤の書…!!


まるで言語を司る左脳とイメージを司る右脳の様だ
即ち赤と黒は補完関係
一方が開く時おのずともう一方も開かれる…!!


人の心が強くなれば自然に書は開くのに…
機械や力ずくで無理に解放するなんていけないのに!!

人が人である限り強い心なんて有りはしない
あるのは強くあらんともがく弱い心だけさ
言い換えれば心弱き者こそ強き意志を持てる者かも知れない
痛みでもって正気を保つ様にね!
…
それが…刈り手達…?

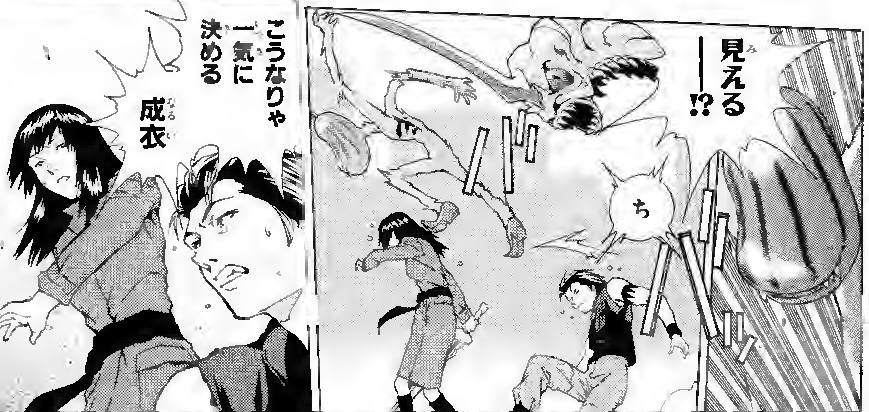
…
お見通しだね
弱き心に衝き動かされた強き思いをまとった者達が刈り手と成り
安逸に可能性に身を委ねる者を刈り続けて来た
刈り手は自らも刈られる者となり得る危うい存在と知りながらも運命に挑んだんだ

真は天に与えられた可能性としてなどではなく
人の意志と叡智の力でもって解き放つ物なら
逆説さ
強き思いを抱く心弱き者こそがその資格を得る！
哀しい人…
どうしようもなく…
…歪んで…!!

なら
書の力で
その歪みを
正すまでだよ!!
みんな…!!
ぬぐ
あっは!!
凄いや
この力…
く…
刈り手の力が
以前とは…
どういう事だ?
こっちだって
鍵の力で
パワーアップ
してるはずだぞ

うわ
くそ
生憎だったな…一実

擬似精神でしかなかった〝黒〟システムに取って代わり
今やあの社長自らが依り代となり書を降魔してるんだ
G・Aの力も以前とは比べものにならない…!!


見える――!?
ち
こうなりゃ一気に決める
成衣

マハラギダイン
合体魔法!!
狂焔乱舞!!
利剣乱舞

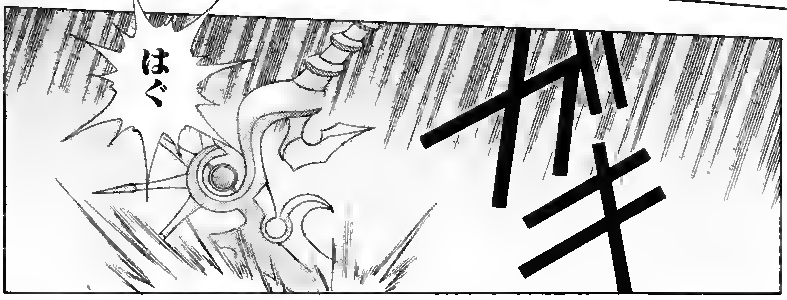
ズ
根こそぎ——!!
ズ
ズ

キ
キ
!!
あ〜あ
悪魔達が
いなくなっちまった…
そんな…
…
無傷…
とはな…
…僕の父さん
理論物理なんかを
得意にしてた
科学者でさ
でも父さんは
自分の研究を
利用された挙句
ゴミくず同然に
捨てられた
僕は
父さんの思いを
受け継ぐ為にも
〝黒〟システム構築に
協力したんだ…
だから…

あんた達なんかに僕の邪魔はさせない!!
!!!

ぐっ!!
はあっ
ああああ
何だ…!?
そんな…
ヒキ
ヒキ
G・Aが
…暴走
!!
ぐあっ…く
は…っ
話が違うよ
冗談じゃない…
僕は…
こんなの
望んで…
やめとけ!
自業自得
ってヤツだ
はっ

いい感じ…！
これだけの力があれば 耶雲 もう泣かせない……!!


はぐ

！
ガッ

ぐ…く
始まったか…

里人…!?

ドカ
ドカ
来るな!!
里…!!
これは
俺が
俺自身の手で
選んだ道だ
ギュル
ギュル
おまえに
批判も同情も
されるいわれは
ない…!!
そうまでして…
解んねーよ!!
そんなのが
おまえの
本心だってのか
黙れ!!!
おまえには
おまえにだけは!!
俺の本心なんて
絶対に
解るものか!!

俺は
俺が
救われるなら
どんな姿に
なろうと…
どんな手を
使おうと…
それで
マナを死なせた
罪を償える
なら――!!

おまえこそ
何も
解ってねー
おまえの
してる事は
――!!
「おまえはマナなのか?」
「私は…」
私はね…
そのマナを
悲しませて
るんだぞ!!!

ぐっ

何故だ…
君は一体
何者だ…？
君と僕との
違いは
僕の予想を
遥かに…

！
やはり
一部を封じられた
今の黒の書では
力不足なのか——

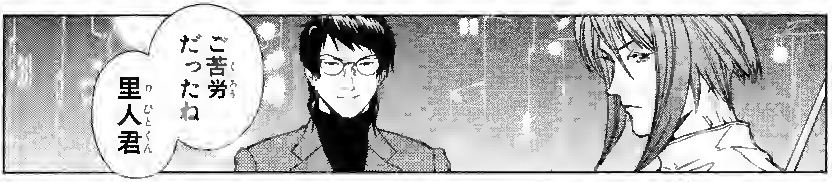
…どうして…？
こんな事続ければ…あなただって…
なら…諦める訳にはいかない…
そうか君は――
〝書〟を携えているのではなく
〝書〟そのものが君を――
僕は諦めない

ズ
ズ
ズ
!?
なっ
くそっ
何だ!?
お呼びだ
ン
うわ

何事だ!?
ズ
ズ
一実!!
J・F
オイラだって
今度は…
ギュ
キ
キ

くっ
な…
ここは——

鈴音!?

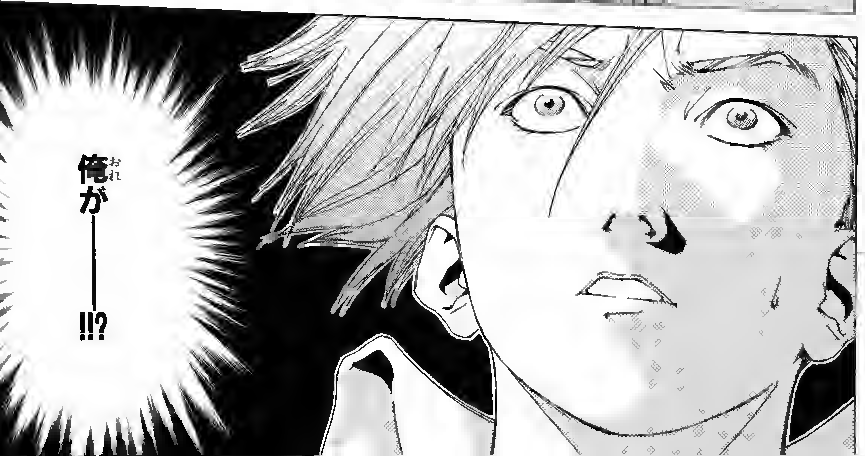

ご苦労だったね 里人君

…くそっ!! …どういう事だよ…!!

どうやら甘く見積り過ぎていたらしい
運命の力をね…!

運命の少年
やはり君には
その役回りを
全うしてもらうしか
無い様なんだ
ふざけるな!!
俺が何で
おまえらに
――!!
忘れたとは
言わせないよ
死へと向かう
若き日の僕を
引き戻した――
運命の少年
……!
!!?
……
ちょっと…
待てよ…
まさか…
あの時の
俺の声が
……!

全ては
君の行動に
端を発し
それが結果
捻れ肥大した
君が回した
運命の輪
その
行方を握るのは
正に
君なのさ…!!


俺が――!!?

**オーディン**　（Odhinn）
北欧神話の最高神。
老獪な風貌、独眼の魔術師。
親分相手じゃヴァルキリーも勝てまいね。

**スザク**　（朱雀）
中国古代の想像上の動物。
玄武、青竜、白虎と共に「四神」とされる。
それぞれが東西南北を守護するが、朱雀は南。

17. 運命(ウンメイ) 》 希望(ノゾミ)
ぐっ
おまえが
いつだって
おまえだ!!
一実(かずみ)!!!
あの時の
俺の声が
あれが
この事件を
――!!
おまえが
みんなの運命を
歪めて来たんだ
俺も
マナも
みんな

# 17。運命 ＞＞ 希望

PERSONA

やあ!!!
ちっ
やっ
ぐっ!!!

もっと力……！
もっと……!!
はあ
はあ
くそ…
いよいよ手がつけられねえ
〝書〟の暴走が始まったんだ
この世界も…閉じ始めてる…
はっ
はっ

もう
〝書〟の力に
呑み込まれて
行くしか…
ナル
ナル
ナル
フレイダイン
キィ
ン
うあ
みんな…

く…
成衣！

ケイト…！
ああ
このままじゃ

…〝書〟に
屈した者から
ヤバくなるって
寸法かい
だとすると
こいつあ…

はあ
はあ
はあ
はあ
…野望だね
結局は
そんな方法でしか
怒りを表せないとは
これが
本当の俺だ
ネンフィアで
見つけた
本当の――
ぐ…
こいつだけは
許せない
この手で
――!!

少年
このまま
無為に
死ぬのが
君の望みかい
見た筈だ
未来の姿を
君の善意が
惹き起こした
世界の歪みは
今も
止まる事なく
進行している
その運命を
正すには
〝書〟の解放以外に
道は無いんだよ
その鍵は
正に
君の手にある
君が全てを
握って
いるのさ…!!
…俺が
そうとも!
もう時が無い
君は
その鍵で
〝書〟の力を削いだ
解放の障害を
取り除くんだ
今なら
間に合う
その
解放用端末に
鍵の力を
注ぎ込むんだ

駄目…
さあ 迷う必要は無い
君が始めた事じゃないか
運命という悪しき永遠の輪廻を断ち切るんだ
人は望む生を生きる権利があるのなら
望む力を手にするべきじゃないのか!?
俺の…せいで――!
さあ 鍵を手に
僕らの為に力を!!
駄目…!
俺のせいで――!!

アトミック・ブフーラ!!!
!!
一実!!
何してるホー
鈴音を助けるホー
……F!
悪魔!?
ち…いつの間に

鈴音(りんね)——!!
…目(め)障りな
やめろ…!
やめて
ホ
J・F(ジェイエフ)!!!

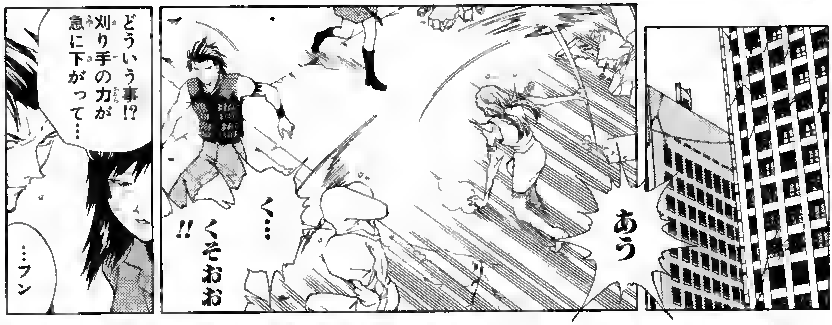
みんなといて…楽しかったホー
けどオイラ 雪の精
春には…解けて消える…のが…運命
なのに…オイラー
お別れ…だホー
冬になったら
また
逢(あ)べる——
ホ…
J・F(ジェイエフ)——!!!

!!!
何故動ける!?
あの
フィールドは…
キン！
しまった
あの悪魔
解放用端末
を…！
ありがとう
J.F.
イ
イ
ン
まだ私には
やる事が
あったんだ
よね…

キン
ッ
うあ
里人君
一実…
これが私の最後の力
あとはあなたが…！
一実…！
一実
!!

ここまで来て好きにはさせない!!!
ガ
ッ
ネ
ネ
！
ネ
はあ
はあ
ネ
少年……！

何が…
運命だ
……!!


あう
くそおお
!!
く…
どういう事!?
刈り手の力が
急に下がって…
…フン

思った通りだ
〝書〟に呑まれて
行った結果
てめーの意志まで
無くしちまった
〝書〟の力を
信奉しすぎた
って事さ
本末転倒って
ヤツよ

今だ！
行くぜ
心霊術師
イゴールの
贈り物を
ええ
何だ!?
よくぞここまで
成長
なされましたな
ヒ
今や
あなた方は
専用ヘルソナ
以上の力を
まとうべきかと
ΨΓΦЄЏ≋ΝΘΘ
ΘΠ↓≋ΔΘЯΛ≋
ΓΦЄЏ≋ΝΘΘ
カッ
あとは
ご自分の目で
お確かめ下さい
新たなる
可能性を
!!

合体魔法!!
ペルソナを換装おお!!!
私ハスザク…四聖獣ノ一ニシテ南方ノ天上ヲ鎮護セシ者――
我はオーディン…全知全能の戦神なるぞ

デスバウンド
ライト・スマッシャー!!!
マハンマ

流石だよ…
こんなに
結局
G・Rに頼った
俺達じゃ…
あんたらには
ドカ
ぐあぁっ
バシュ
はうっ
バシュ
耶雲…！
ドカ
でも…
社長は…
強いよ

…この子達も必死にもがいてたのね
因果な連中だ
俺達よりもずっと真直な奴らかもな
〝書〟の悪用を止めればこいつらのペルソナも…
ギュレ
!?
ケイト…！
ああ
『G・R』は書に開いた〝抜け穴〟…か
この向こうが〝書〟って訳だ……！

この歌…

Humpty Dampty
Sat on a wall.

マザー・グース…！

Humpty Dampty
had a great fall…

…マナ！

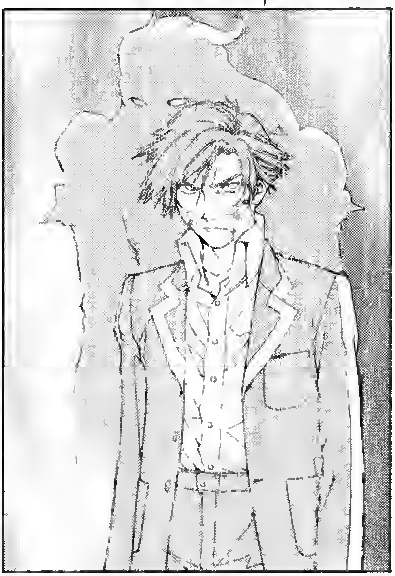
違う…
君は――
いや
でも…
やっぱり
――！
!!?
私は
マナであって
マナじゃ
ない――
里人…
ずっと
待ってた
みんなの心が
一つになるのを
それが私の
役目であり
…願い――

でも里人
もう
時間が無いの
予想以上に
事が進んで
私の力も
…もう——
だから…
直接…
あなたに——
俺に…？
何故…？
里人…
心を開いて
痛みに
惑わされないで
本当に里人が
望む姿を
思い出して…！
下らない…
そんな——
嘘
現にあなたの心は
G・Rの侵食を
拒んでるじゃないの！

君は一体
何者なんだ？
私は
星人の…一実の
みんなの思いが
願いが
赤の書を
呼び起こして
産まれた
みんなの心の中で
ずっと生きてきた
色んな像が
最後の
望みが
実体化した
存在――
そうか…！
君は
依り代を持たない
…独立した
ペルソナ
なんだな!?

何という…
ズ
ズ
ズ
ズ
僕を
生かして
おきながら
僕を止める

君ほど
罪な男は
いないよ
少年!!
…
黙れ



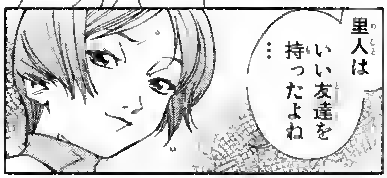
その気ならば
仕方ないね
だが
聞いておきたい
君の本心を

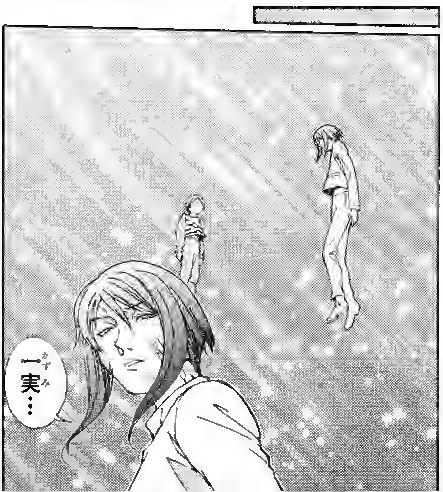
!!

ガ
ガ
むっ
…ふう
無事
ご到着かい
…成衣！
刈り手達を
破ったか…
お兄ちゃん…！
みんな
よお！
ひでえ面だ
抜け掛けは
やめろ
って
家訓作るか？
大丈夫？
成衣さん
俺の本心…
俺は——

里人!!
聞いてるか
里人!!
"本当の自分"?
笑わせんな
おまえは
結局
出会った時の
あのまんま
弱っちくって
情けねー
いつだって
"大丈夫か"って
心配になる様な
ヘナチョコだ
ふざけんな
"別の人生"も
"本当の自分"も
どこにも
あるもんか!!
ドキ
ドキ
おまえも!
俺も!!
今
ここにいる
自分しか
ねーんだ
バカな…!
罪だろうが
何たろうが
受け入れて
生きてくしか
ねーんだよ
けどな

けど おまえが
そんな事に
迷うくらい
誰よりも純粋で
真直だって
俺は知ってる
誰が何と
言おうと
おまえは 俺の大事な
友達だからだ
忘れるな
何があっても
俺達は友達
だからな!!!


里人は
いい友達を
持ったよね
…


一実…

俺は…
捨てたんだ
何もかも…
マナ…
おまえの
為に——
…里人

私は過去なの
今ある自分を
今そこにいる里人自身を生きて…！
これからの里人の為に――！
キィ
イ
イ
ン
それは…
マナ…まさか！

そう…
4つ目の扉
最後の鍵は
私自身
そして
これを本当に
手にするのは
――――
何を…
言ってるんだ
せっかく
会えたんだ
なのに…
〝書〟の力なら
何もかも
やり直せるのに!!
Humpty Dampty
sat on a wall.
Humpty Dampty
had a great fall.
All the king's horses
and all the king's men
Couldn't put Humpty
together again…
この歌は
――――
〝ハンプティー・
ダンプティー〟…

塀の上に座ったハンフティー・ダンフティーがね
落っこちて壊れちゃうの
『みんなが、どれだけ力を合わせてももうハンフティーは元通りに出来ないって
そんな歌』

マナ…

ハンフティー・ダンフティーは
もう元には戻らない……

行くぜ！一実!!
解ってる
そう
俺は
解っている
少年…!!
ペルソナ
俺の内にある
〝意志の力〟が
この勝敗の
分かれ目と
なるんだ！
最後の戦いに
俺の全てを
賭けて――!!

ヴァルナ　(Varna)

古代インドの神。
宇宙の秩序と人倫の道を支配する司法神。
こいつへの信仰はメソポタミアにまで遡れるらしい。こりゃ古い。
典型的なアスラ（阿修羅）で、ゾロアスターのアフラ・マズダーと対応するって説もある（アフラは古代イラン語のアスラ）。
こりゃ偉い。
…が。後代インドではその地位は落ちる事に。
仏教では「水天」。

# 18. 希望(ノゾミ) 〉〉 夢(ユメ)

PERSONA

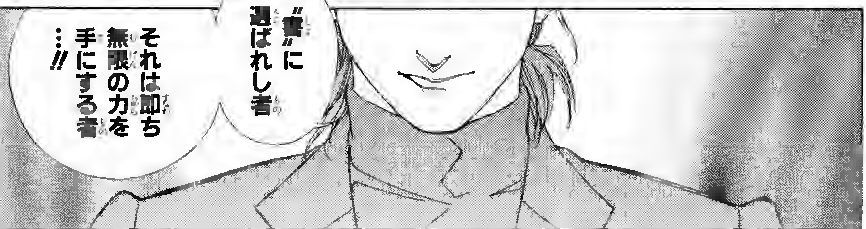
とは言え
そんなあなたも
今回は珍しく
人間の行動に
干渉した——
〝赤〟と言う
少女のペルソナ
を使ってね
それも
自らの力を
削いでまで！
人間ごときの
可能性に
賭けるなど
愚かに
過ぎますよ!!


去りたまえ
昏き意思
〝這い寄る
混沌〟…！

ティ.
俺達の戦いは
続くぞ
心の海の深淵に
果てが無い様にな
運命の行方を握る
〝特異点〟は
まだまだ
いくらでもいるのだ
!!

ゴゴゴ

ぐ……
こいつ――
ビラ
ビラ
ビラ
同時に
3つの
ペルソナを
……!!


〝書〟に
選ばれし者
それは即ち
無限の力を
手にする者
…!!

僕の全身全霊でもって〝車〟の力の全てを
その功罪の全てを見せてやる!!
その上で尚も抗う意志が君達にあるかな!?
刻の車輪!!
ぐあああっ!!

一実――!?
マナ…
ここは普遍的無意識と呼ばれる心の海――
聞こえるよね？みんなの心の声が…！
心を開いて
あなたの本当の望みは
俺は――
こんな事じゃ無かった筈
ひるむな
合体魔法!!

地雷断
…話にならんね!!
ちッ
攻撃力強化
泡沫の波紋!!
強化魔法が解かれた!!?

拡散閃影殺!!

傷付いた魂は
絶え間無い痛みに
いびつに歪む
気付いていたかい？
その歪んだ心が
悪魔達を産み
ペルソナを産み
出した事を
今の珠閒瑠は
人の歪み
そのものなのさ
くそ…
打つ手が
無え…

珠閒瑠を…
世界を
救いたければ
歪みを正す
しかない！
歪みとの共生も
ささやかな
延命措置に
過ぎないよ
人が
人で
ある限り!!
ご立派だな
世界を
救う為に
妹を消すか
口には
気をつけ
たまえ!!

ズドドドドン
うああっ
キィ
まだあ!!
キィ
あの姿…
あれは俺が
初めて見た時の
〝黒〟の…
形が――
刈り手の
言った通りか
あの男の力でも
ペルソナの形態を
維持出来ねえ――

流石の
あの男の
精神も
壊れっつ
あるんだ…！
もう
やめて…！
成衣さん
泣いちゃ
駄目だ
一実…
あいつの
心の声が
聞こえる様だ
あの男…
本気で何かを
決意している
あいつを
止めるには
本当に
止めたいなら
迷っちゃ
駄目だ…！
それに
まだ
俺達には

…聞こえるよ 社長の声も
…そうか！
あの人は 自分の精神を 犠牲に 昏き思いを
日野精一郎を 助けてあげて
彼の心が 完全に死んで しまう前に 哀しみから 救ってあげて
たった 独りの人間が みんなの心を 背負う必要は 無い
そんな為に 書の力は あるんじゃないの
里人だって …同じ
…でも俺は
里人 一実は
一実には 解ってる
一実…

俺は…
あいつの様には
なれなくて
だから
強く
なりたくて——
里人だって
頑張って
強くなった
じゃない
……
強くなんか
なりたく
なかった…
優しくも
なりたく
なかった
ただ…
ただ
ずっと
みんなで
一緒に
——！
さようなら
里人……！

メテオクラッシュ
ドガガガ
昏き思いの果て無き力は消せない!!
ぐは
ああっ!!!
これまでだ運命の少年!!
まだ…俺達には――!

!!!
か…っ
鍵穴に…
何…？
あれは！
4つ目の
鍵…!?
里人…！
……

運命に
日和ったかぁ
!!!
ペルソナ
!!

ヴァルナだと?
それに…あの姿——
鈴音と…融合したみたいに…
私は水面の上にあり秩序を擁護する者ヴァルナなり!!
ぬっ
アクアリータイド!!
さようなら
マナ…!!

…スゲエな
ああ！
あれが…俺の親友だ！

…絶対来るって信じてたよ
…だから俺は
おまえが大嫌いだ…

力は抑えたでもまだ〝黒〟の暴走は止まっていない
ゴゴゴゴ
ああ早く決めねーと手遅れになる
あの男を…救い出すんだ
一気に行くか…！

ズ
ズ
ズ
昏き心は
果てんよ
……!!
一実!
ヤマのLVじゃ
話にならん
Pチェンジを
嫌だ
…
一実?
俺は
俺の中にいた
ヤマの力を
知らなかった
地獄の裁判官
としての
もう一人の俺が
他人を
傷付けてた事も
けど——
けど今俺は
やっとヤマを
自分の一部だって
認められるんだ
ヤマの力を
俺は最後まで
信じる…!!

討てるかい
この身
諸共に!!
我が分身よ
昏き心に
非情の裁きを
来る!!
行くぞ!!

社長
俺もやっと
解ったよ
〝書〟は
心を操る為に
産まれたん
じゃない
心を
無限の海へと
解き放つ為に
見失ってしまった
心の声を
探し出す為に
産まれたんだ!

俺達にもう〝家訓〟なんぞ必要ねぇ
聞こえるよね、みんな
私はいつも
思いっきり行けぇ!!!
みんなの心の中に!
〝書〟よ!!
心を
合体魔法!!!

四天修羅
してんしゅら

誅滅剣舞!!!
ちゅうめつけんぶ

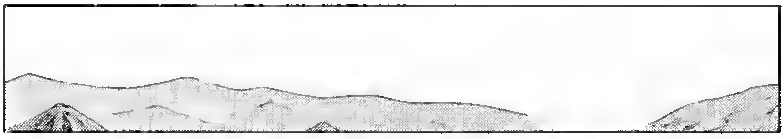
ぐぁあああああっ!!!
ぐっ
これで
やっと——

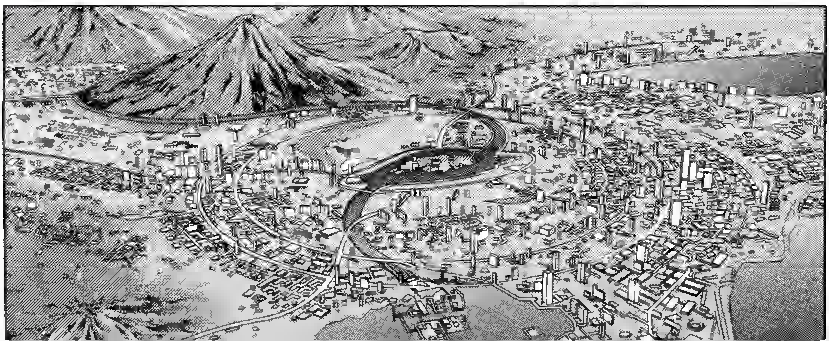
あるべき所へ

あるべき形で

〝書〟を

繋いで――



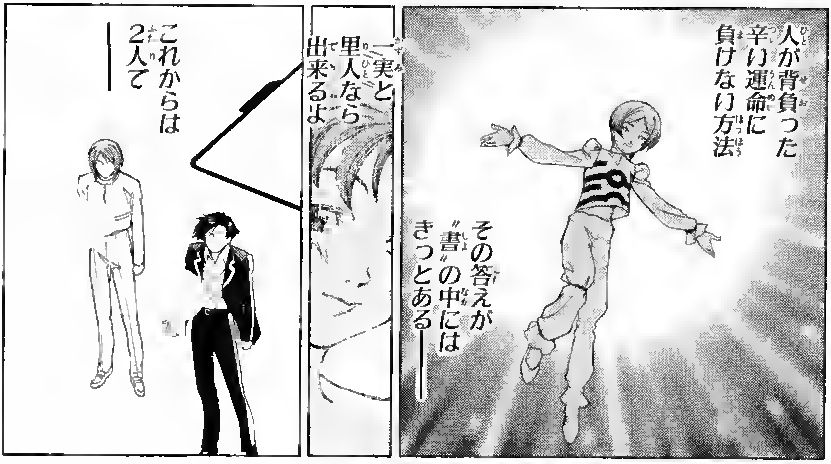


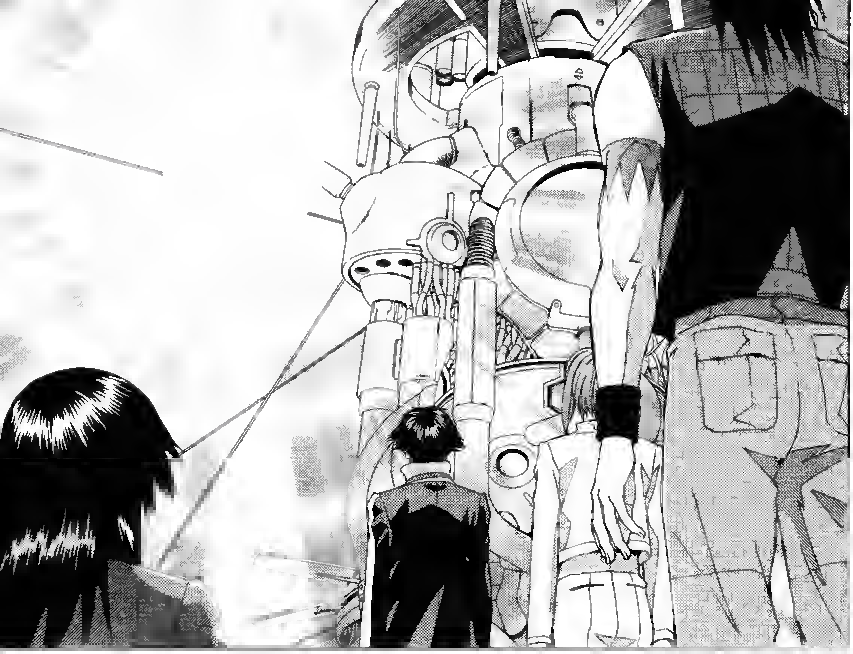
一美くーーん！
おう
ごめーん！待たせたぐ
行くか！
うん！
街は平静を取り戻した
誰も知らない世界の未来を賭けた戦い…
俺達は
勝ったんだ
ドン

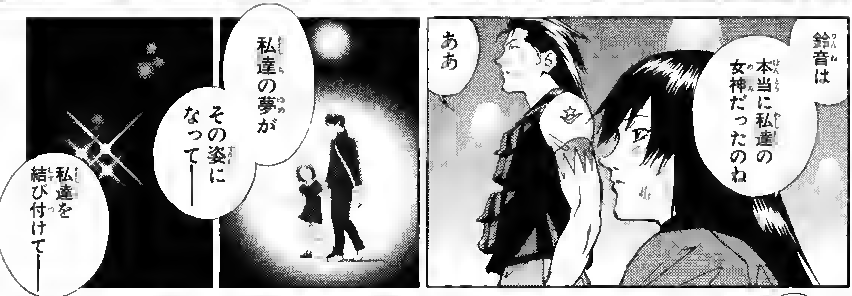
…終わったな
うん
…
ネンフィアはどうなるのかな？
当の社長も――
さあな
パリの本社で騒ぎの原因は探るだろうが〝黒〟システムの正体を知るには相当掛かるだろうし
これで…いいんだよな
鈴音
!?
キィ
彼のお蔭で昏き思いは心の海深くに封印された
これで本当に〝書〟を人の手に委ねる事が出来る…
イ
イ
鈴音！
ン
ン
これは…！

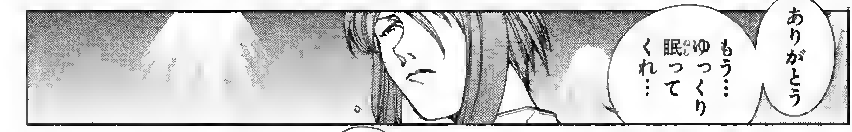
俺達が
赤の書と
黒の書を
――？

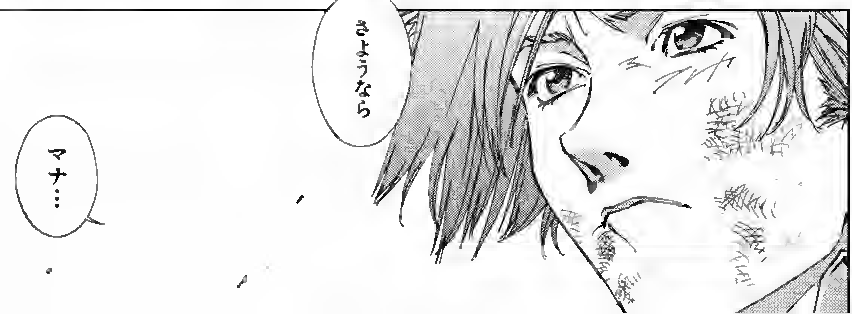
これが
フィレモンとの
最後の約束――


人が背負った
辛い運命に
負けない方法
その答えが
〝書〟の中には
きっとある――
一実と
里人なら
出来るよ
これからは
2人で
――




鈴音は
本当に私達の女神だったのね
ああ
私達の夢が
その姿になって——
私達を結び付けて——


ありがとう
もう…ゆっくり眠ってくれ…


さようなら
マナ…

俺は
みんなと別れて
元の暮らしへと
戻った

戻った俺に
周囲は当然
驚きと安心と
好奇の目で
応えたが
何も説明しない
俺に 次第に
関心を失って
いった様だ

両親も
ほとんど
俺を
叱らなかった

全てが夢
だったかの様に
何もかも
元通りに
なっていた——

春の起こり
学園祭も
無事終わり

季節は冬に——

どうしたの？

あ…
いや

でも
夢なんか
じゃない

な——僕。

ネンフィアは
日本からの
撤退を
発表した
公式には
収益がどうのと
言っていたが
実は
事件の重大さに
必死の収拾を
図ったのだろう

やっぱり
何から何まで
変わったまま
で——

両親が俺を
叱らなかった
のも
2人が
俺の変化に
戸惑ったから
らしい
俺が…
変わって
しまったんだ

何より
里人は
結局
戻っては
来なかった

まるで
あの男の
心の様に——
では
ご本人に
その意志が
おありでも
臓器の提供は
なさらない
——と
ええ
兄は必ず
戻って来ます
…全く…
脳死は
植物状態とは
違うんだぞ
医学的に見て
蘇生限界を
越えてるんだ！
きっと あと
数日で——
仕方ないさ
本人だけじゃなく
家族の同意も
要る話だ

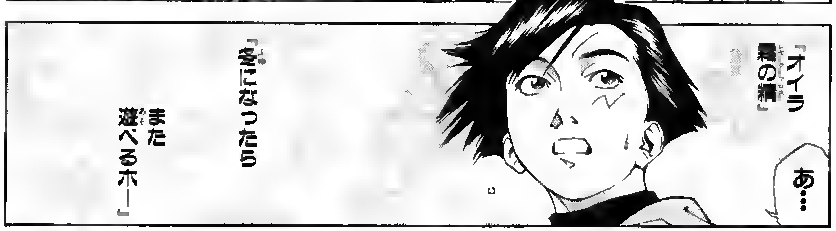
医者になんか
判らない
あなたの心が
生きてるって事
私にしか――
キュ
キュ
…そうよね
これでやっと
始まり――
また
一からの
やり直し…
でも
今度は
私が
癒してあげる

ねえっ
知ってる!?
最近噂の
〝浄化様〟って
お呪いの話
インチキ臭くて
信じないよねー
♪
〝罪の浄化〟
その言葉の通り
昏き心を背負って
倒れて行った
日野精一郎
里人は
あの男の後を
追ってしまう
のだろうか…
…あ!
雪だよ
一実君!!
本当だ!
ひゃあ珍しい!
まだ11月なのに
その時
俺達は
同じ空を
見ていた

…雪か
…綺麗だ
里人
おまえだって
解ってる筈だよな
俺達は みんな
心の海を通して
一つに繋がって
いると言う事
決して孤独に
罰に怯えるだけの
罪人なんかじゃ
無いと言う事を
だから…
いずれ——

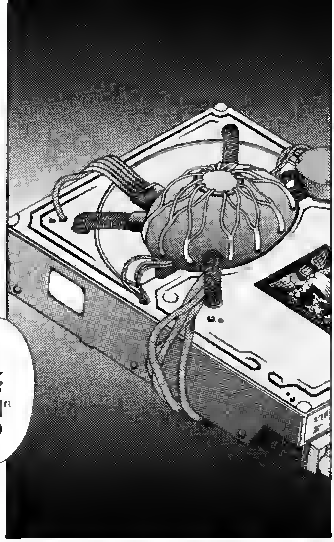
ヒ——ホ——！

!!

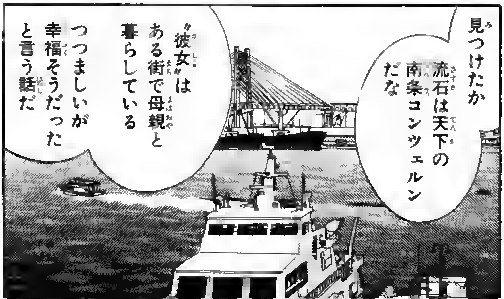

あ…
「オイラ最の綱」
「きになったら
また遊べるホー」

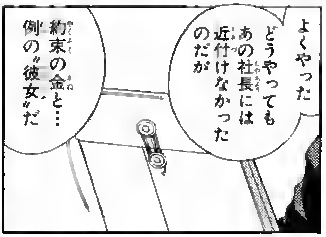
あは…
J・F…
そうだよな
もう
あの頃には
戻れなくたって
俺達の心は
いつも
一緒だ…！
やだ！もー
やっぱ一実君
優しすぎ～
心配
掛けやがって
…！
確かに
ロマンチック
だけどさ
そこまでって…
え…？
何で…？
何てって
ホラー――
一実君

…泣いてるよ
ホー


これが例の
擬似精神
システムか

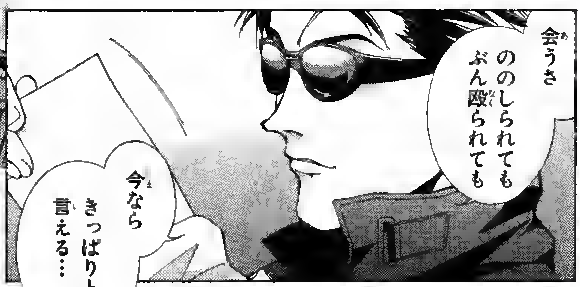
…の一部だ
ドサクサの中
どうにか
そいつだけ
手に入れた
無茶
させるぜ
ネンフィア
Jの
不穏な動向を
探る――
それが君の
仕事だ

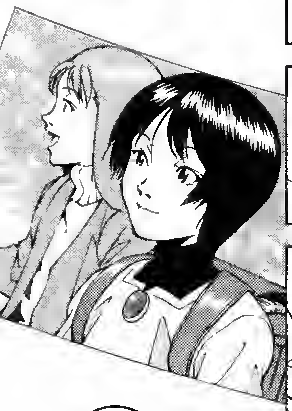

見つけたか
流石は天下の
南条コンツェルン
だな
〝彼女〟は
ある街で母親と
暮らしている
つつましいが
幸福そうだった
と言う話だ


よくやった
どうやっても
あの社長には
近付けなかった
のだが
約束の金と…
例の〝彼女〟だ

高校生位の時分の話かね？
若気の至り――？
そんな所だ
それでもどうしても警官になりたくてな
ギュ
娘は
身上調査で傷が付くと思い込んで捨てた
俺の正義なんてその程度の代物さ

で？どうするのかね？


会うさ
ののしられてもぶん殴られても
今ならきっぱりと言える…


…俺の〝女神〟だ

3 心の海（完）

# 「本当の自分」って？（あとがきに代えて）

松枝尚嗣

「恵比須海岸」となっている通り、この「罪と罰」の世界が「罰」世界と同時系列である事は、賢明な読者ならばお気付きだろう。

雑誌上では軽く触れているが、この作品は「罰」の約半年から一年前の物語である。更に、「罪」「罰」両方の世界で起きた「セベク・スキャンダル」とは違い、当「ネンフィア・スキャンダル」は「罪」世界では起こっていないという想定だ。この物語は、いわば「罰」以前に邪悪な存在（某N）が仕掛けたもう一つの（正確には沢山の実験の中の一つの）巨大な陰謀を描いている。よって、アラヤ神社は燃えていないし、本丸公園（工事前）には「外務大臣」須藤…となっていたりする。轟所長も青葉区にいる（笑）。

そして、「罰」冒頭での「フィレモンの衰弱」に至る別なる説明として、また、後に「ジョーカー様」呪いが流行する素地としても機能する様すり合わせてみた（ヴァルナのデザインを「罪」型から「罰」型へと「進化」させてみたのはちょっとしたお遊びだが）。

ケイトがシュバルツ・システムの情報を南条コンツェルンにもたらした結果、その技術がJSM（ジョーカー分離マシン）へと昇華されて行くと言った筆者の仕込みもある（刈り手侑力の言う『父さん』とは、デヴァ・システム構築者「ニ〇ライ博士」…と言うのは隠しネタだが）。

惜しむらくは、ゲーム上のキャラクターを有機的に絡める様なエピソードが用意出来なかった事だろうか。

さて、歴史ある当シリーズを漫画化するに当たって、主人公・一実の最後の行動（Pチェンジを拒む）を〝ゲームではシステム上語りえない観点でペルソナを捉える〟筆者なりの答えとしてみた。自分の中にずっと存在しながら気付かなかったもう一人の自分。彼はそれを心の底から認める事で、里人が、耶雲が陥った（自分探し）と言う名の現代の流行病を、正面から斬って捨てるのである。別の世界？本当の自分？人は自分の「外」に自分を見つける事など出来ない。既にある「内」なるものにしか自分は無いのだ。一実の叫びは、そのまま筆者の本音でもある。

とは言え、「俺はあいつの様にはなれなくて…」と目を伏せる里人に、抗いがたく魅かれてもいる。そんな風に強くなるには何を拠り所にすればいいんだ？自分が自分である限り、決して越えられない壁があるはずなんだ…そんな永遠の堂々巡り。世の中が希望を与えてくれない悲しい現代に生きる者の、悲しい呟きがそこにある。

真実をその手にしながらも結局は全てに背を向けさすらう他ない里人に、ある種の現代のリアルを収斂したと言っては言い過ぎだろうか？（でも、どこ行ったんだ？？）

但し、この作品は悲劇ではない。

彼らはもう解っているのだ。傷付いても、汚れても、人は生きて行くしかない事を。

そう、

「冬になったら」またいくらでも…。

末筆ながら、松の脇目も振らない暴走ぶりを温かい目で見守って下さったアトラス「ペルソナ」スタッフの方々や、上下左右の集中砲火から巧みに庇って下さった担当・小野氏に心からの感謝を表したい。

◇

十月某日・そろそろ冬だホー…

■ジャンプ・コミックス

ペルソナ～罪と罰～

3 心の海

2001年12月9日　第1刷発行

著者　松枝尚嗣
©Naotsugu Matsueda 2001
監修　ATLUS

編集　ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03(5211)2651

発行人　山路則隆

発行所　株式会社 集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話　東京　03（3230）6231（編集）
03（3230）6191（販売）
03（3230）6076（制作）
Printed in Japan

印刷所　株式会社 廣済堂

造本には十分注意しておりますが、乱丁・落丁（本のページ順序の間違いや抜け落ち）の場合はお取り替え致します。購入された書店名を明記して、集英社制作部宛にお送り下さい。送料は集英社負担でお取り替え致します。但し、古書店で購入したものについてはお取り替え出来ません。本書の一部または全部を無断で複写、複製することは、法律で認められた場合を除き、著作権の侵害となります。

ISBN4-08-873202-2 C9979